

令和2年度 飛騨市市政世論調査 調査結果報告書

【概要版】

I	調査概要.....	2
1. 1	調査の目的	
1. 2	調査項目	
1. 3	調査の設計	
1. 4	回収結果	
1. 5	標本誤差	
1. 6	報告書の見方	
II	調査結果.....	3
2. 1	暮らしについて	
問1	家庭の暮らし向き（家計など）は、去年の今頃と比べてどうか。	3
問1-2	暮らしが苦しくなったと感じる理由（3つまで）	4
問2	暮らしの満足度.....	5
問3	生活面での不安（3つまで）	6
問4	今後の暮らしの中で重視していきたいこと（3つまで）	8
問5	生活に必要な情報の入手媒体（いくつでも）	10
問6	現在住んでいる地域は住みやすいか.....	12
問6-2	住んでいる地域が住みやすいと感じる点（いくつでも）	13
問6-3	住んでいる地域が住みにくいと感じる点（いくつでも）	14
問7	今後も飛騨市に住み続けたいか	15
2. 2	市の取り組み全般について	
問8	施策や事業についての情報の入手方法（いくつでも）	16
問9	市事業への関心の有無.....	19
問9-2	市事業に関心がない理由	20
問10	市の取り組みでよくやっていると思う分野、努力が足りないと思う分野、重点的に進めるべきだと思う分野（それぞれ5つまで）	21
(1)	市の取り組みでよくやっていると思う分野	21
(2)	市の取り組みで努力が足りないと思う分野	25
(3)	市の取り組みで重点的に進めるべきだと思う分野	28
問11	自由意見（飛騨市の市政についてご意見を類似内容でまとめた件数）	31

令和2年9月実施

飛騨市

I 調査概要

1. 1 調査の目的

飛騨市民の意識、興味、関心、満足度などの経年変化を調査し、市政運営の基礎資料とすることを目的とする。

1. 2 調査項目

- (1) 暮らしについて
- (2) 市の取り組み全般について

1. 3 調査の設計

- (1) 調査対象 飛騨市内在住の満 16 歳以上の男女個人（約 20,000 人）
- (2) 標本数 2,000 人
- (4) 抽出方法 飛騨市住民基本台帳から無作為で抽出
（地区別（選挙区別）、年代別、性別の人口構成による）
- (5) 調査方法 郵送法
- (6) 調査時期 令和 2 年 9 月 16 日～9 月 30 日
- (7) 調査実施機関 株式会社 中部タイム・エージェント
ただし、本概要版については、調査結果報告書を基に、飛騨市役所企画部秘書広報課で作成した。

1. 4 回収結果

標本数 (A)	回収数 (B)	有効回答数 (C)	回収率 (B/A)	有効回答率 (C/A)
2,000	1,563	1,562	78.2%	78.1%

1. 5 標本誤差

調査結果には統計上多少の誤差が生じることがあるため、調査結果をみる場合、一定の幅を持たせてみる必要がある。その幅を標本誤差という。

		回答比率 (%)									
		5 又 は 95	10 又 は 90	15 又 は 85	20 又 は 80	25 又 は 75	30 又 は 70	35 又 は 65	40 又 は 60	45 又 は 55	50
n (回答者数 人)											
総数	1,562	1.1	1.5	1.8	2.0	2.1	2.3	2.4	2.4	2.5	2.5

(注) 1. 層化を行った場合、誤差は上表より若干増減することもある。

2. この表の見方は以下のとおりである。

「ある設問の回答者数が 1,562 人であり、その設問中の選択肢の回答比率が 50%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.5%である。」

1. 6 報告書の見方

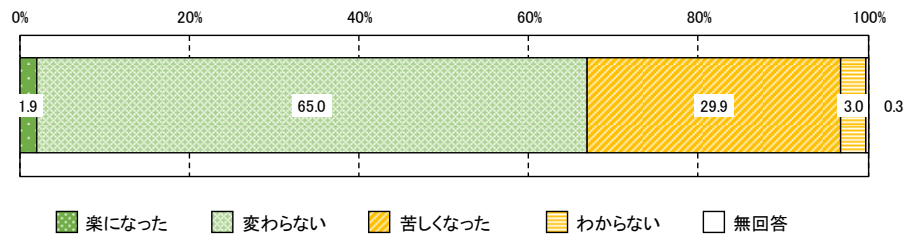
- (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。そのため、パーセントの合計が 100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数は「n」（件数）として掲載した。したがって比率は、n を 100%として算出している。
- (3) 複数回答が可能な設問では総回答数を「N」として掲載した。その場合、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%を占めるのかという見方をする。したがって、各項目の比率の合計は、通常 100%を超える。
- (4) 本報告書中の表、グラフ及び本文で使われている選択肢の表現は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合がある。

Ⅱ 調査結果

2. 1 暮らしについて

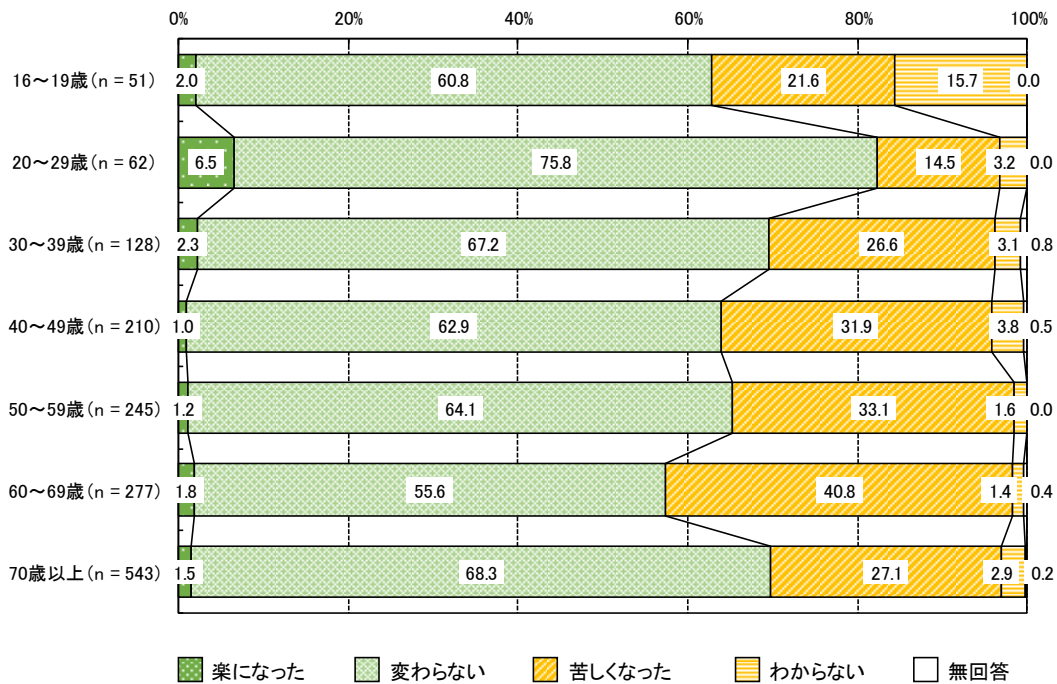
問1 家庭の暮らし向き（家計など）は、去年の今頃と比べてどうか。

回答者数 (n = 1,562)



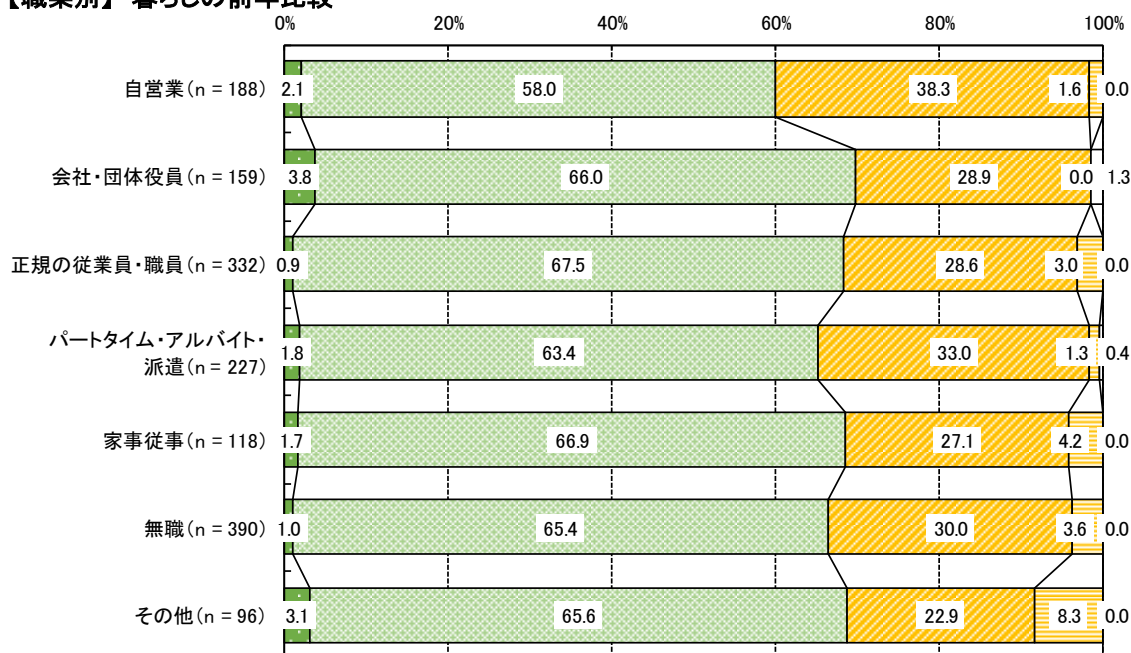
・「変わらない」が65.0%、「苦しくなった」が29.9%となっている。

【年代別】 家庭の暮らし向き（家計など）は、去年の今頃と比べてどうか。



- ・いずれの年代においても「変わらない」が最も高く、そのうち20歳代が75.8%と最も高い。
- ・20歳代では「楽になった」においても6.5%と他の年代と比べて高い。
- ・「苦しくなった」は、60歳代が40.8%と最も高い。

【職業別】暮らしの前年比較



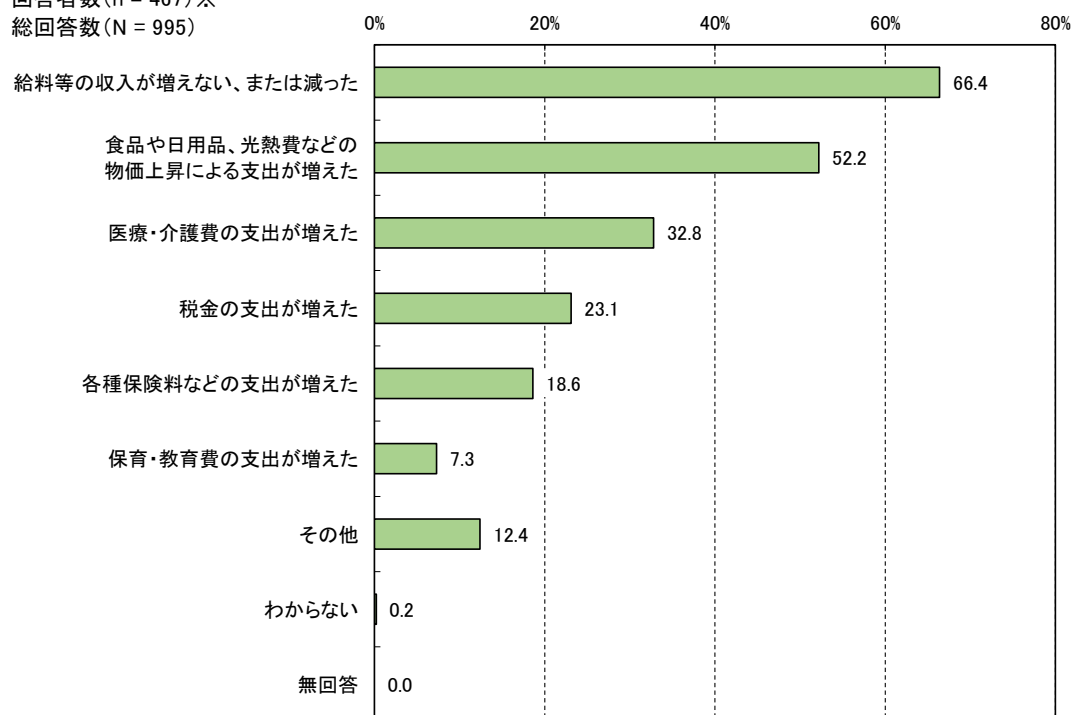
※ その他には、自由業、学生を含む。

- ・いずれの職業においても「変わらない」が最も高く、そのうち正規の従業員・職員が67.5%と最も高い。
- ・「苦しくなった」は、自営業が38.3%と最も高い。

問1-2 暮らしが苦しくなったと感じる理由（3つまで）

回答者数 (n = 467) ※

総回答数 (N = 995)

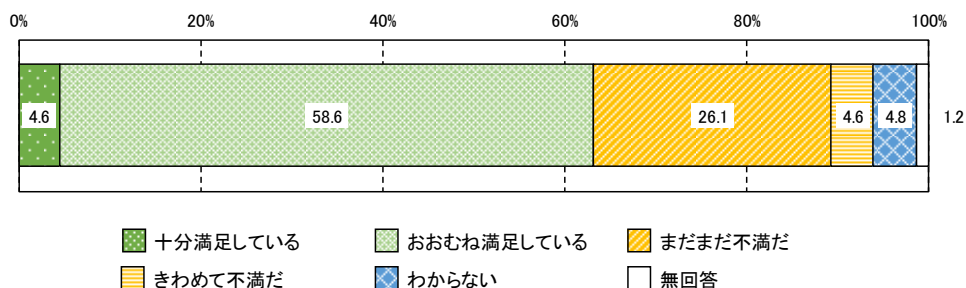


※ 問1で「苦しくなった」と答えた方のみ

- ・「給料等の収入が増えない、または減った」が66.4%と最も高い。
- ・次いで「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」(52.2%)、「医療・介護費の支出が増えた」(32.8%)の順となっている。

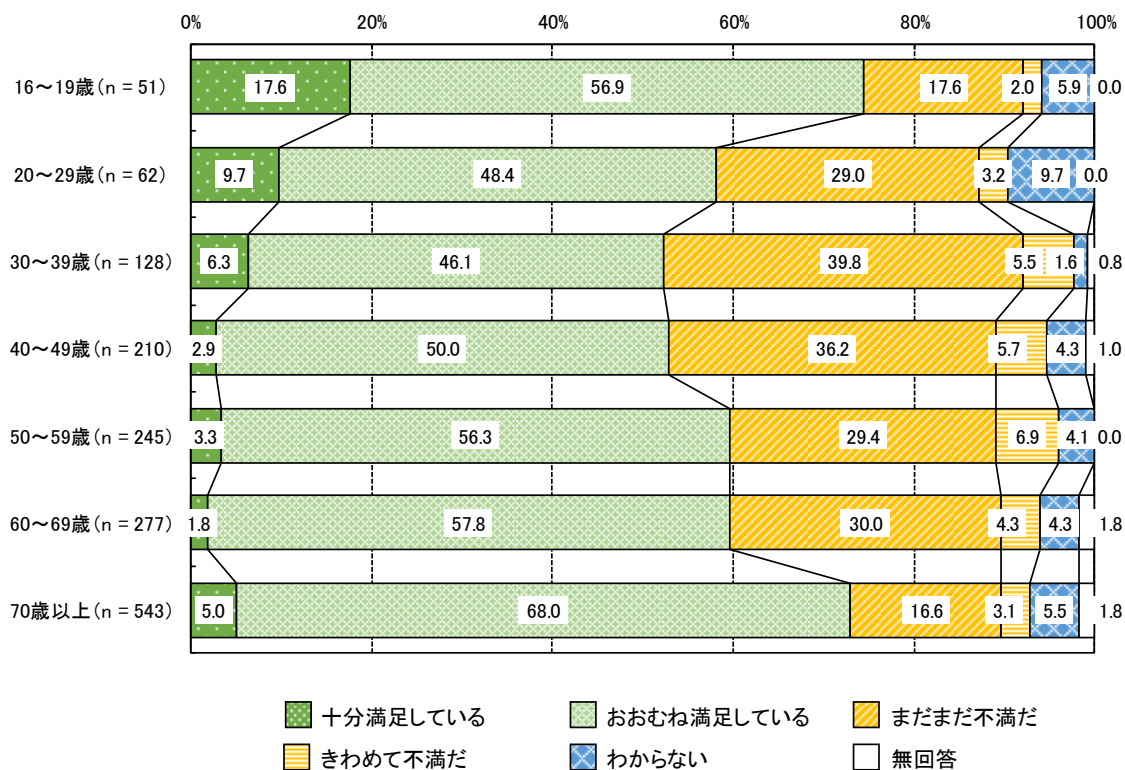
問2 暮らしの満足度

回答者数(n = 1,562)



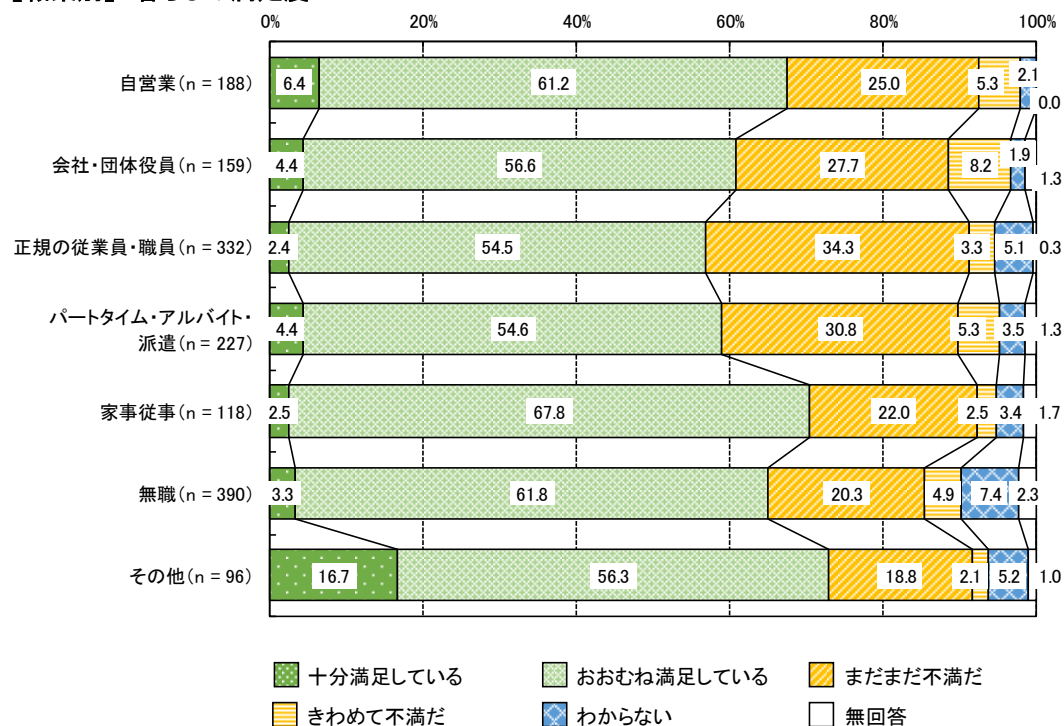
- ・「おおむね満足している」が58.6%と最も高い。
- ・次いで「まだまだ不満だ」が26.1%となっている。

【年代別】暮らしの満足度



- ・いずれの年代においても「おおむね満足している」が最も高く、そのうち70歳以上が68.0%と最も高い。
- ・「まだまだ不満だ」では30歳代が39.8%と最も高い。

【職業別】暮らしの満足度

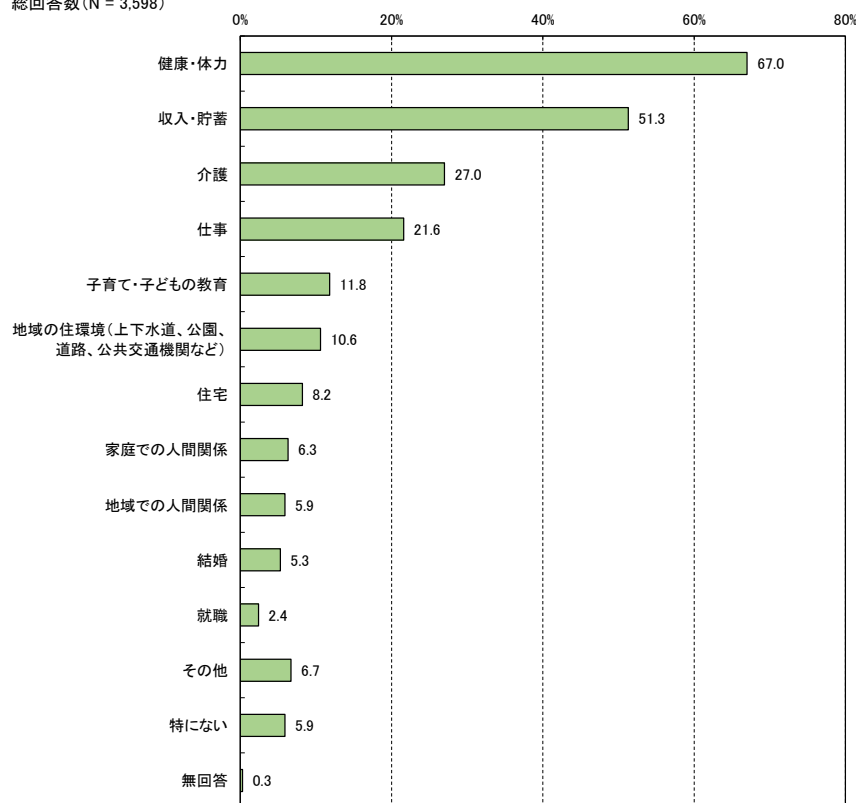


※ その他には、自由業、学生を含む。

- ・いずれの職業においても「おおむね満足している」が最も高く、そのうち家事従事が 67.8% と最も高い。
- ・「まだまだ不満だ」では正規の従業員・職員が 34.3% と最も高い。

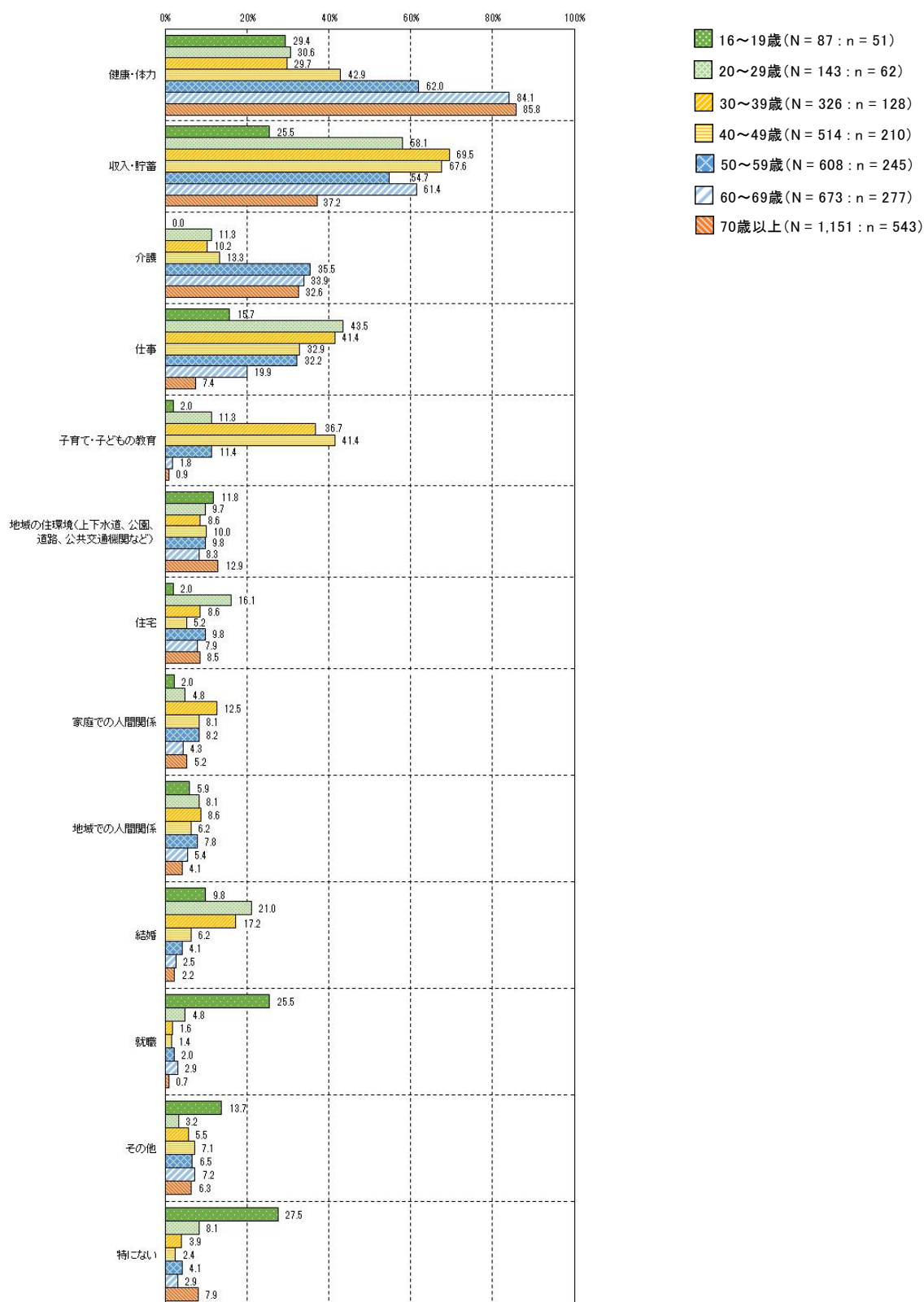
問3 生活面での不安（3つまで）

回答者数 (n = 1,562)
総回答数 (N = 3,598)



- ・「健康・体力」が 67.0% と最も高い。
- ・次いで「収入・貯蓄」(51.3%)、「介護」(27.0%) の順となっている。

【年代別】生活面での不安 ※N=総回答数 n=回答者数

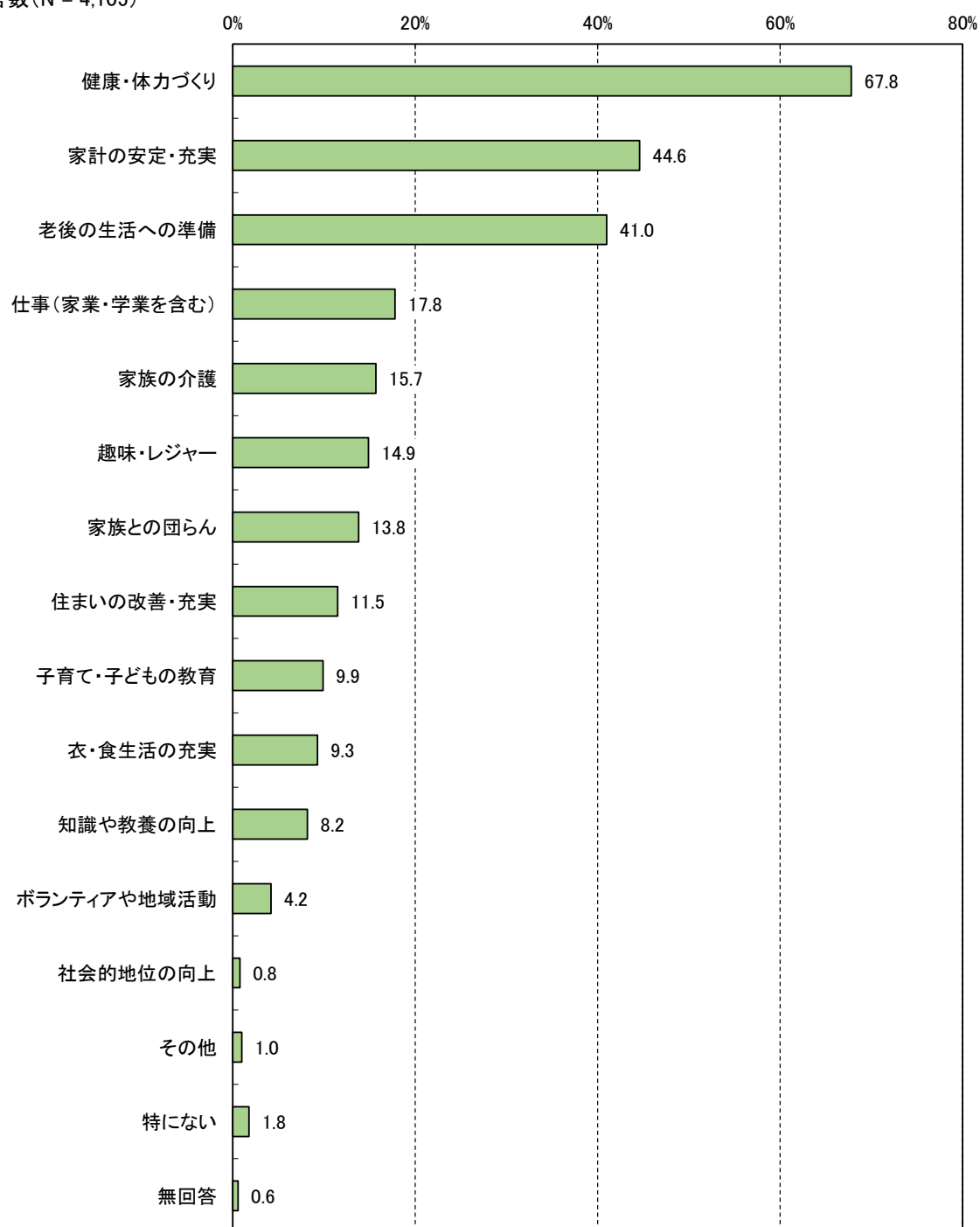


- ・20歳代、30歳代、40歳代は「収入・貯蓄」が最も高く、そのうち30歳代が69.5%と最も高い。
- ・16～19歳、50歳代、60歳代、70歳以上では「健康・体力」が最も高く、そのうち70歳以上が85.8%と最も高い。
- ・「健康・体力」は年代が高くなる程、割合が高い。
- ・「就職」では16～19歳が、「仕事」「住宅」「結婚」では20歳代が、「子育て・子どもの教育」では30歳代、40歳代が他の年代より高い。

問4 今後の暮らしの中で重視していきたいこと（3つまで）

回答者数 (n = 1,562)

総回答数 (N = 4,105)

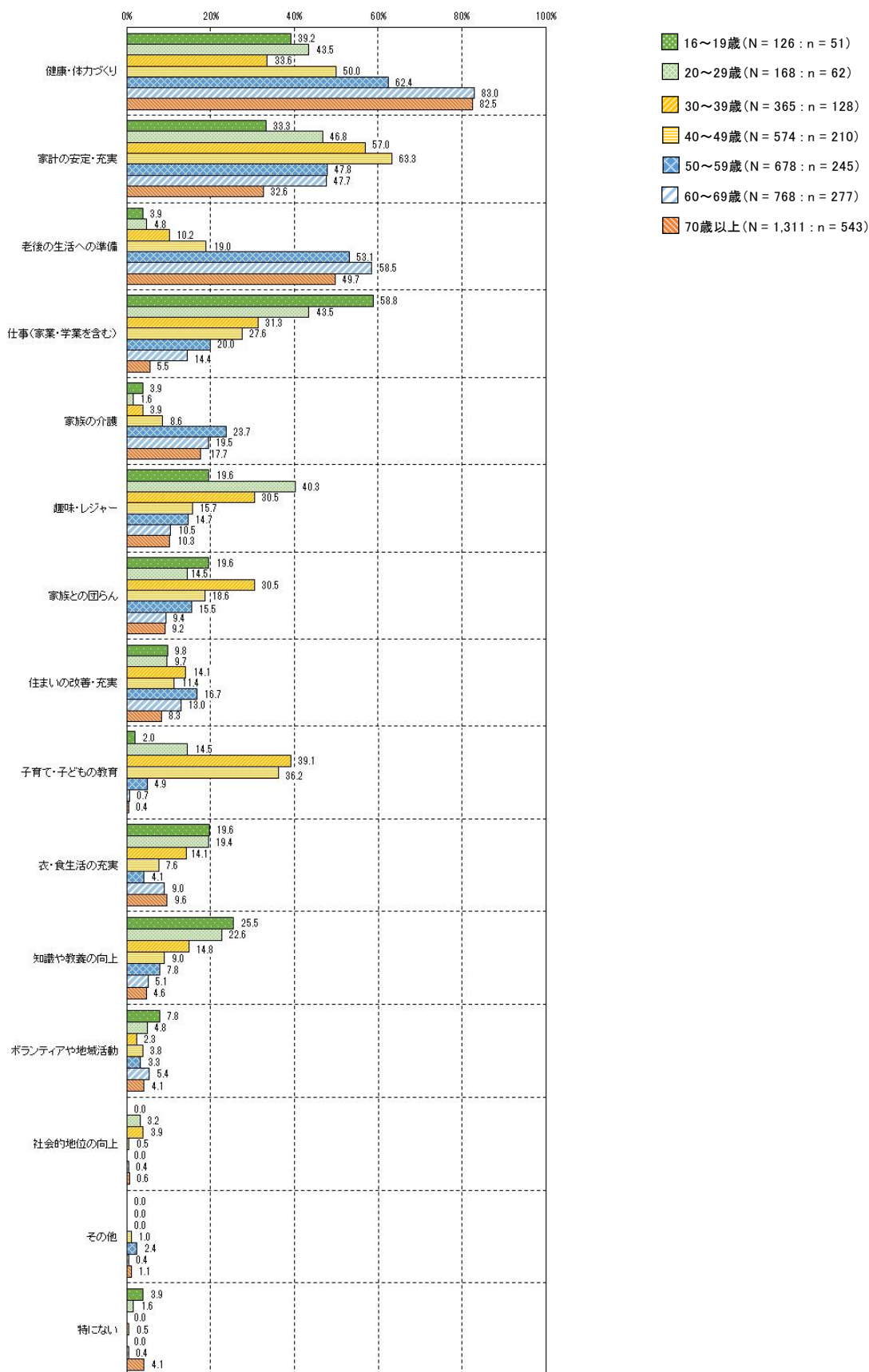


※ N=総回答数 n=回答者数

- ・「健康・体力づくり」が67.8%と最も高い。
- ・次いで「家計の安定・充実」(44.6%)、「老後の生活への準備」(41.0%)の順となっている。

【年代別】 今後の暮らしの中で重視していきたいこと

※N=総回答数 n=回答者数

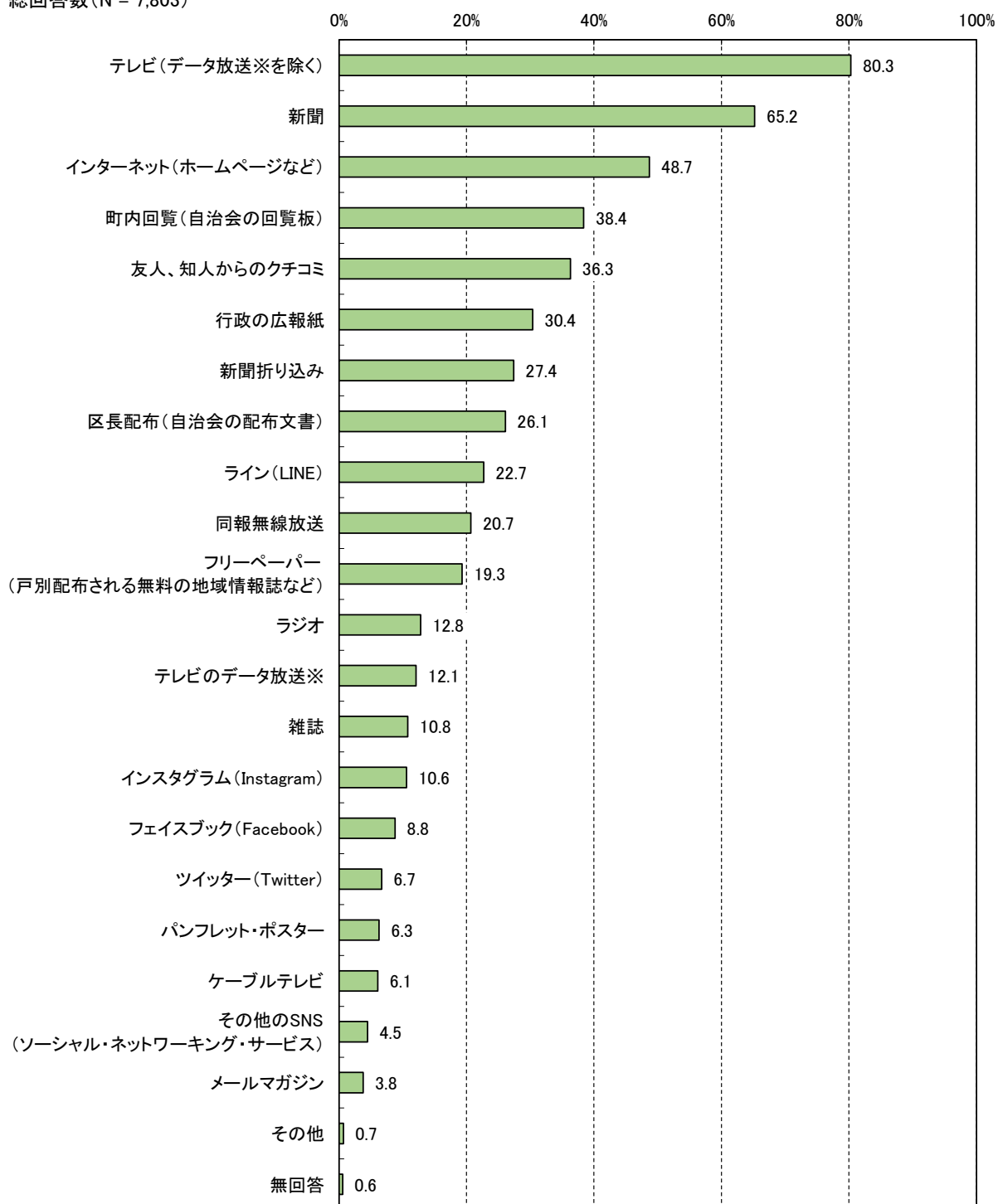


- ・ 16～19 歳では「仕事（家業・学業を含む）」が最も高い。
- ・ 20 歳代、30 歳代、40 歳代では「家計の安定・充実」が最も高い。
- ・ 50 歳代、60 歳代、70 歳以上では「健康・体力づくり」が最も高い。
- ・ 30 歳代、40 歳代では「子育て・子どもの教育」が他の年代に比べて高い。

問5 生活に必要な情報の入手媒体（いくつでも）

回答者数 (n = 1,562)

総回答数 (N = 7,803)



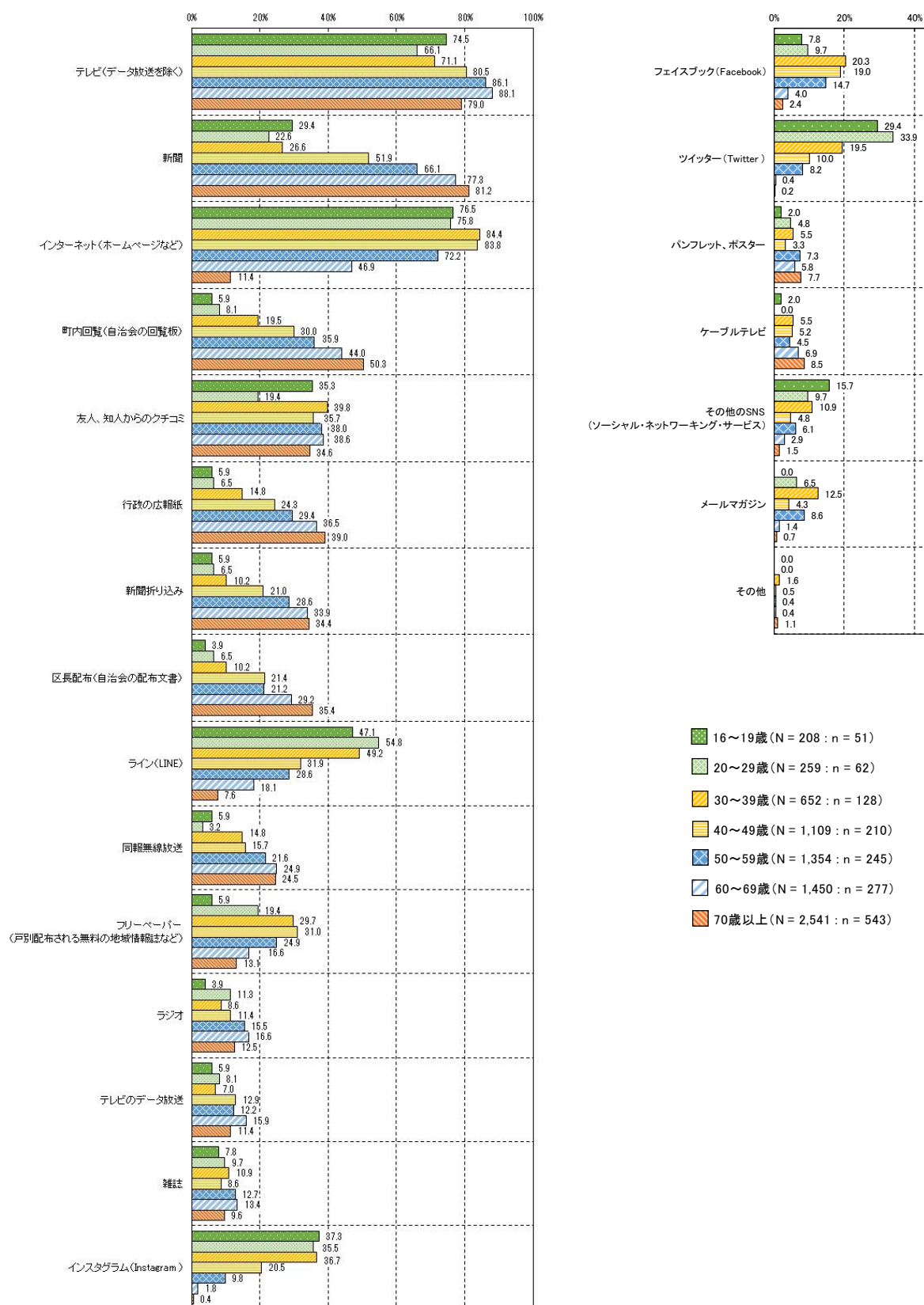
※ データ放送: リモコンの「dボタン」を押すと天気やニュースなどの情報を入手できるサービス

※ N=総回答数 n=回答者数

- ・「テレビ (データ放送を除く)」が 80.3% と最も高い。
- ・次いで「新聞」(65.2%)、「インターネット (ホームページなど)」(48.7%) の順となっている。

【年代別】生活に必要な情報の入手媒体

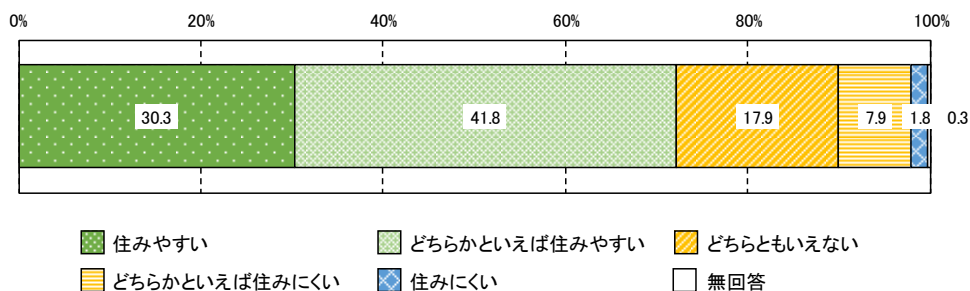
※N=総回答数 n=回答者数



- ・16～19歳、20歳代、30歳代、40歳代では「インターネット(ホームページなど)」が最も高い。
- ・50歳代、60歳代では「テレビ(データ放送を除く)」が最も高い。
- ・70歳以上では「新聞」が最も高い。
- ・「町内回覧(自治会の回覧板)」、「行政の広報紙」、「新聞折り込み」では年代が高くなる程割合が高く、「ライン(LINE)」、「Instagram」、「ツイッター(Twitter)」は低い年代で割合が高い。

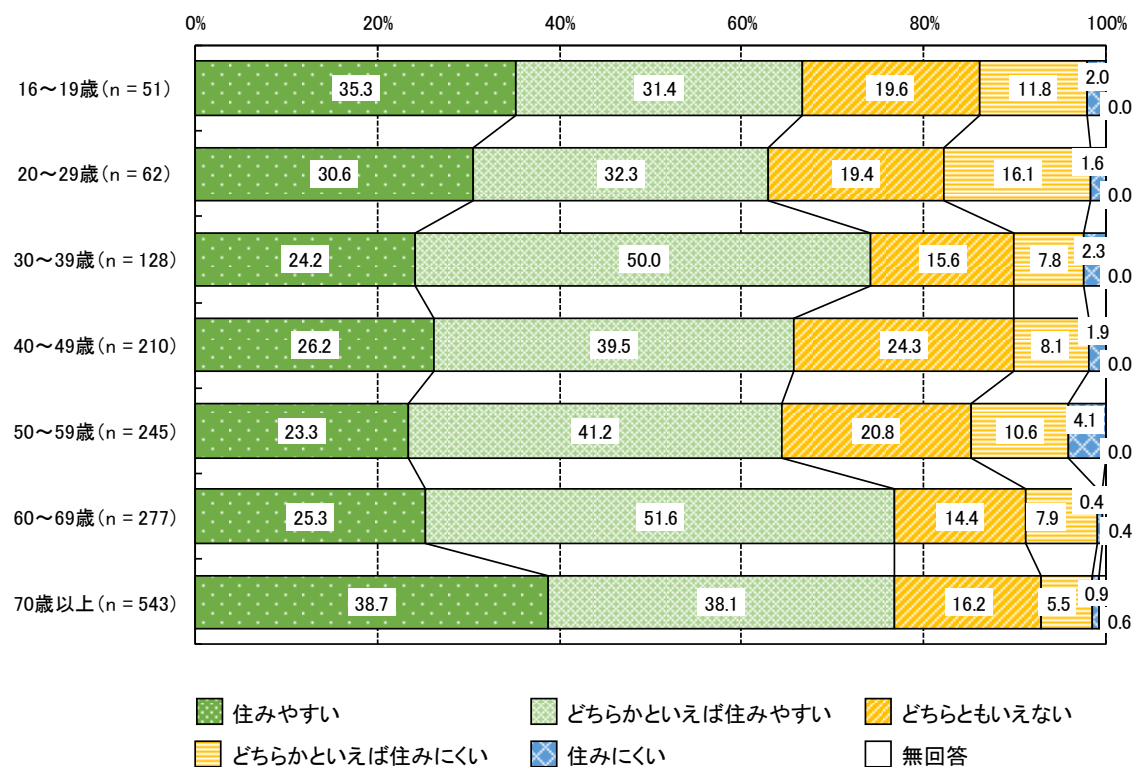
問6 現在住んでいる地域は住みやすいか

回答者数 (n = 1,562)



- ・「どちらかといえば住みやすい」が41.8%と最も高い。次いで「住みやすい」(30.3%)、「どちらともいえない」(17.9%)の順となっている。

【年代別】現在住んでいる地域は住みやすいか

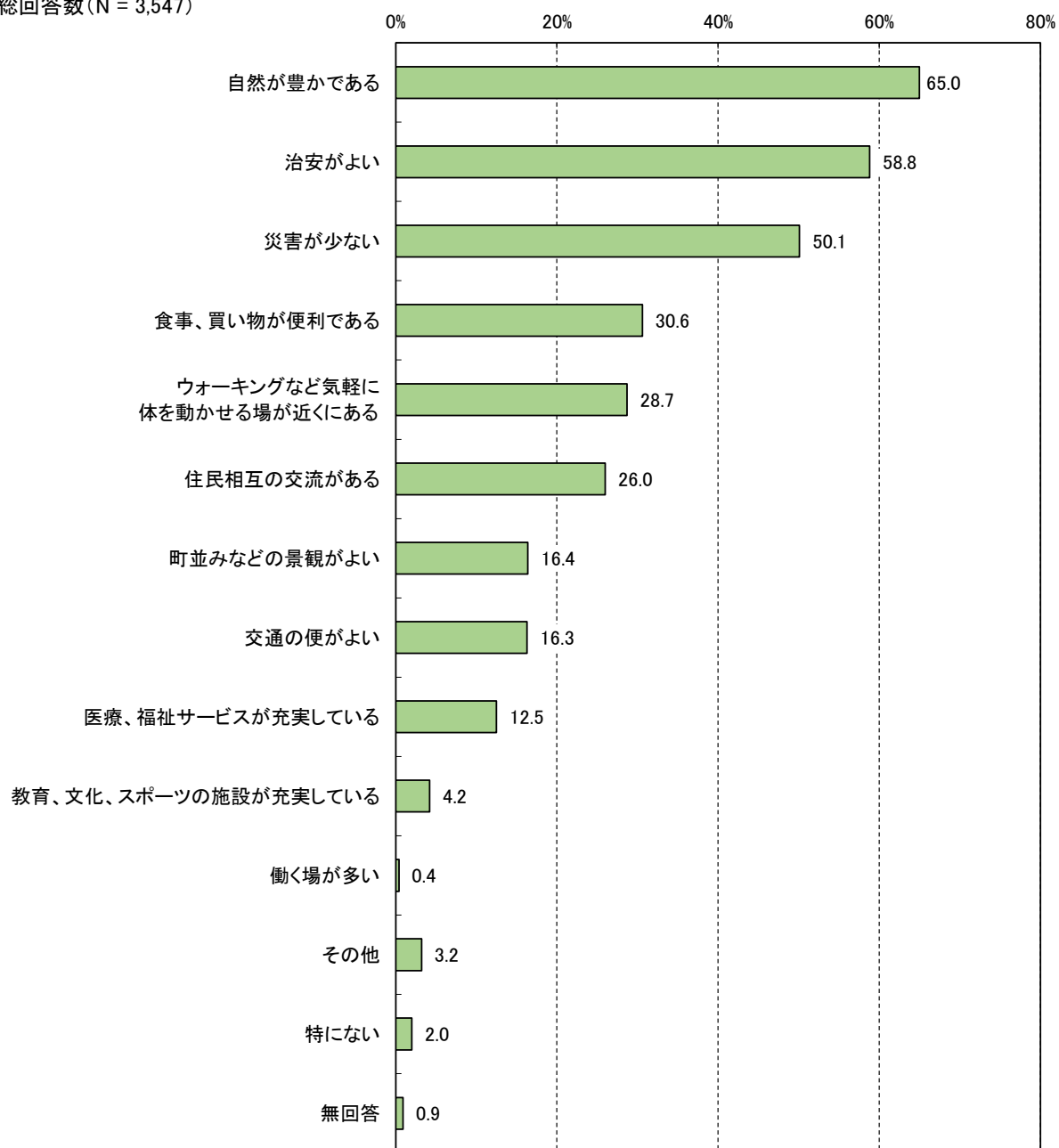


- ・16～19歳、70歳以上では「住みやすい」が最も高い。
- ・20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「どちらかといえば住みやすい」が最も高い。

問6-2 住んでいる地域が住みやすいと感じる点（いくつでも）

回答者数(n = 1,126)※

総回答数(N = 3,547)



※ 問6で「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた方のみ

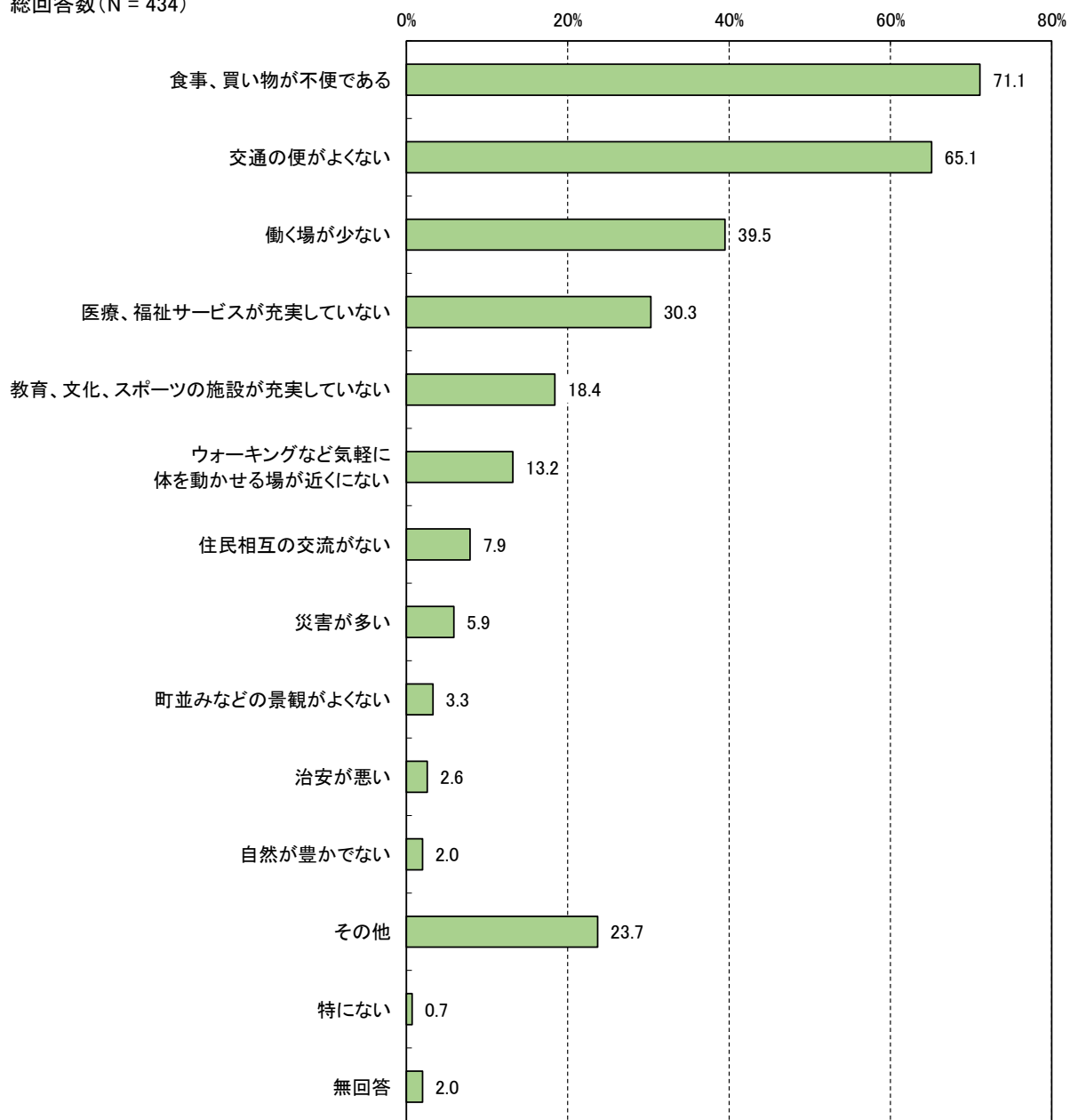
※ N=総回答数 n=回答者数

- ・「自然が豊かである」が65.0%と最も高い。
- ・次いで「治安がよい」(58.8%)、「災害が少ない」(50.1%)、「食事、買い物が便利である」(30.6%)の順となっている。

問6ー3 住んでいる地域が住みにくいと感じる点（いくつでも）

回答者数 (n = 152) ※

総回答数 (N = 434)



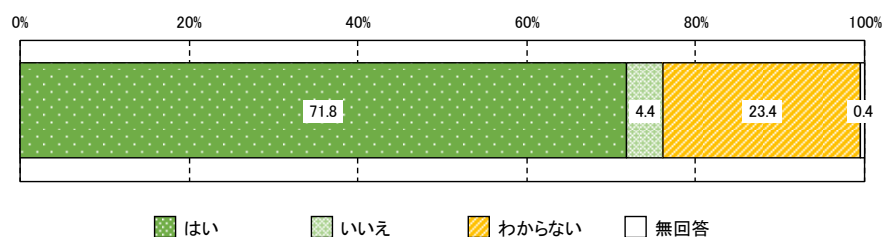
※ 問6で「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた方のみ

※ N=総回答数 n=回答者数

- ・「食事、買い物が不便である」が71.1%と最も高い。
- ・次いで「交通の便がよいくない」(65.1%)、「働く場が少ない」(39.5%)の順となっている。

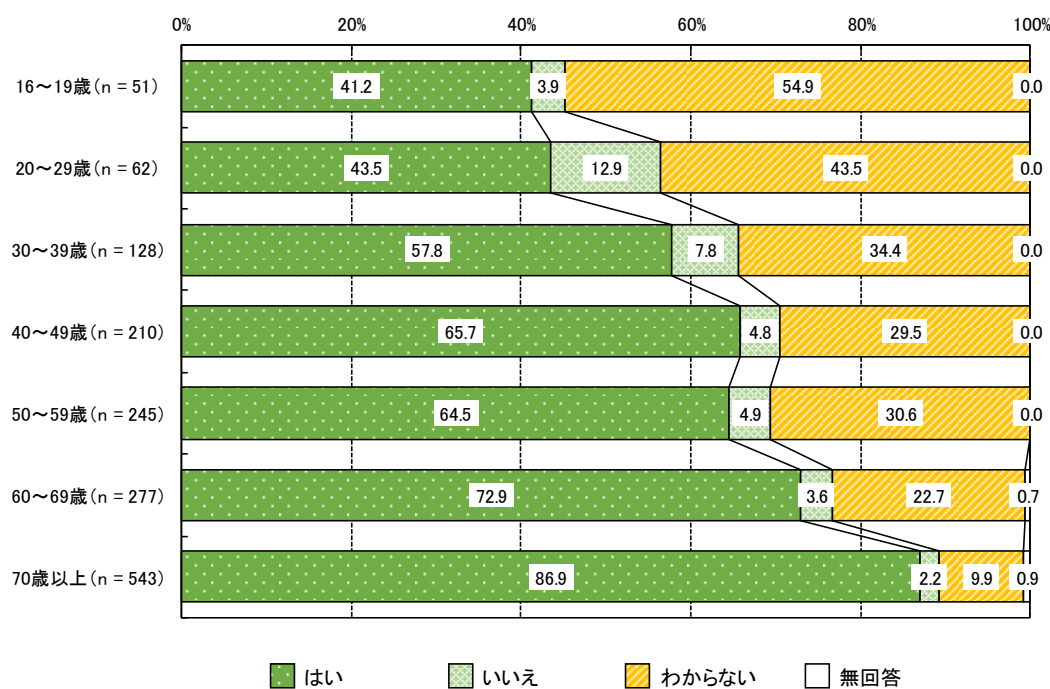
問7 今後も飛騨市に住み続けたいか

回答者数 (n = 1,562)



- ・「はい」が71.8%と最も高い。

【年代別】 今後も飛騨市に住み続けたいか



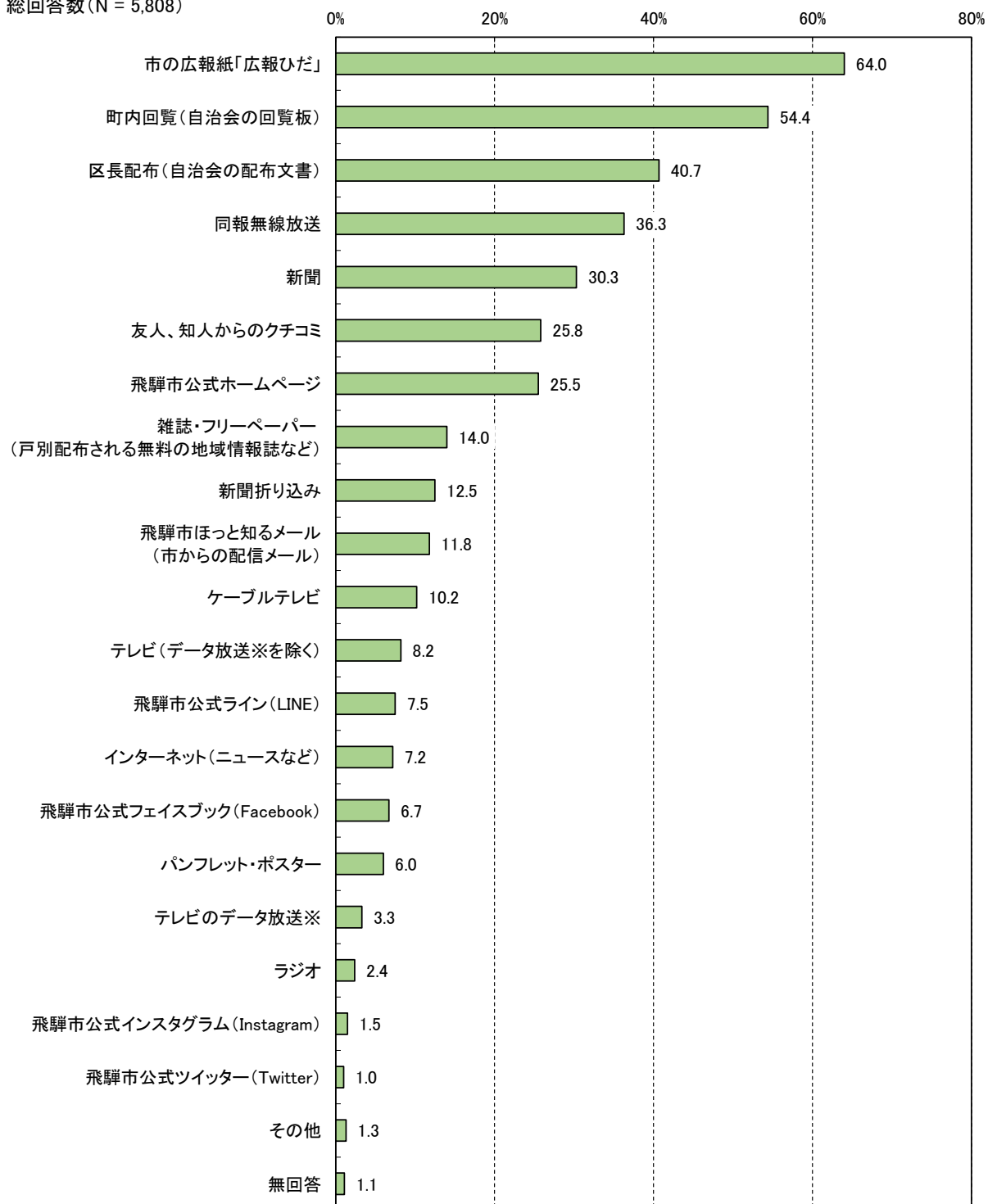
- ・16～19歳では「わからない」が54.9%と最も高い。
- ・16～19歳を除くいずれの年代も「はい」が最も高く、年代が高くなる程割合が高い。
- ・20歳代では「はい」と「わからない」が43.5%と同率になっている。

2. 2 市の取り組み全般について

問8 施策や事業についての情報の入手方法（いくつでも）

回答者数(n = 1,562)

総回答数(N = 5,808)



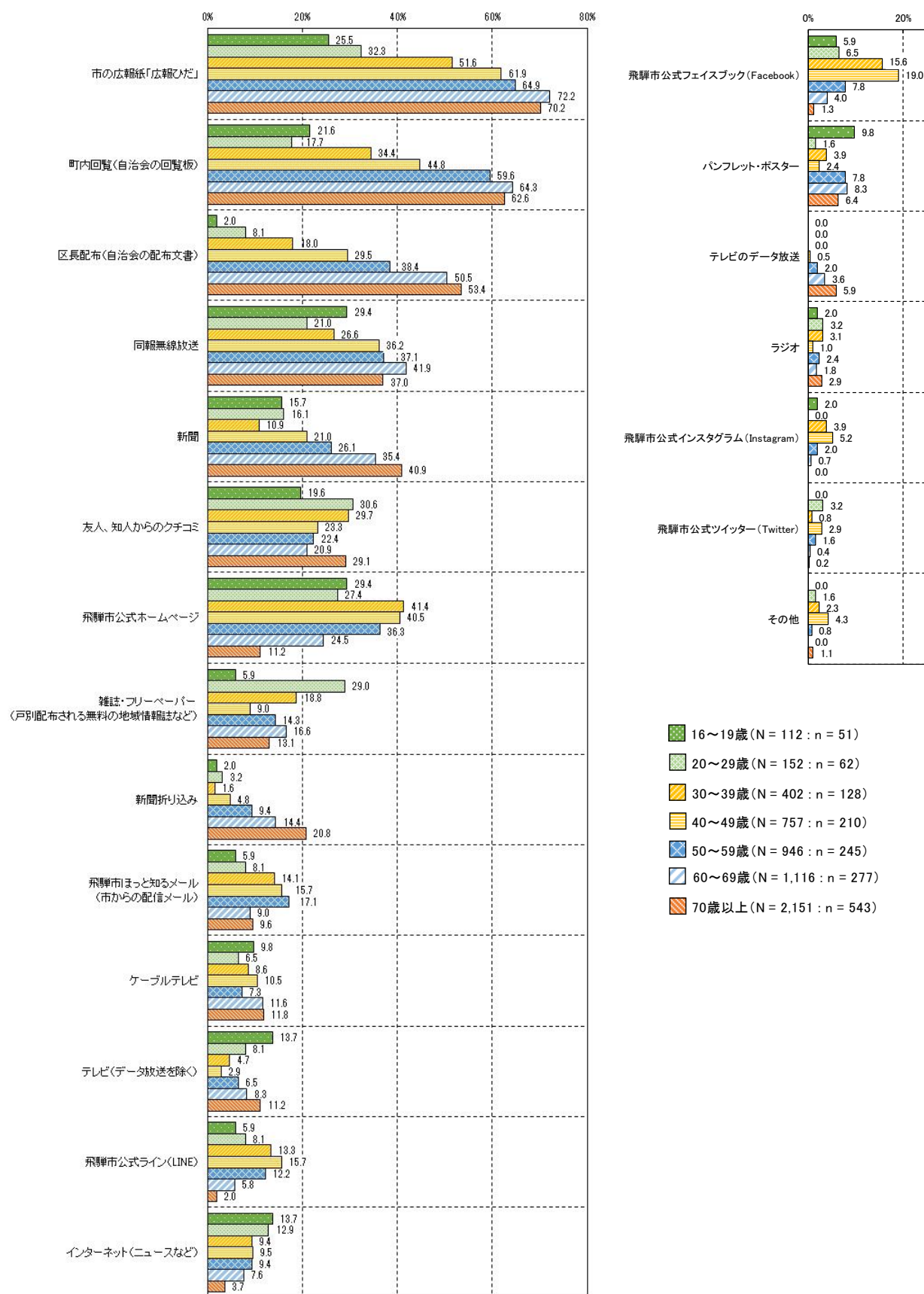
※ データ放送: リモコンの「dボタン」を押すと天気やニュースなどの情報を入手できるサービス

※ N=総回答数 n=回答者数

- ・「広報ひだ」が64.0%と最も高い。
- ・次いで「町内回覧」(54.4%)、「区長配布」(40.7%)の順となっている。
- ・令和2年度から「ほっと知るメール」「LINE」の同時配信を開始。「ほっと知るメール」と「LINE」から情報を入手している割合は計19.3%となっている。

【年代別】 施策や事業についての情報の入手方法

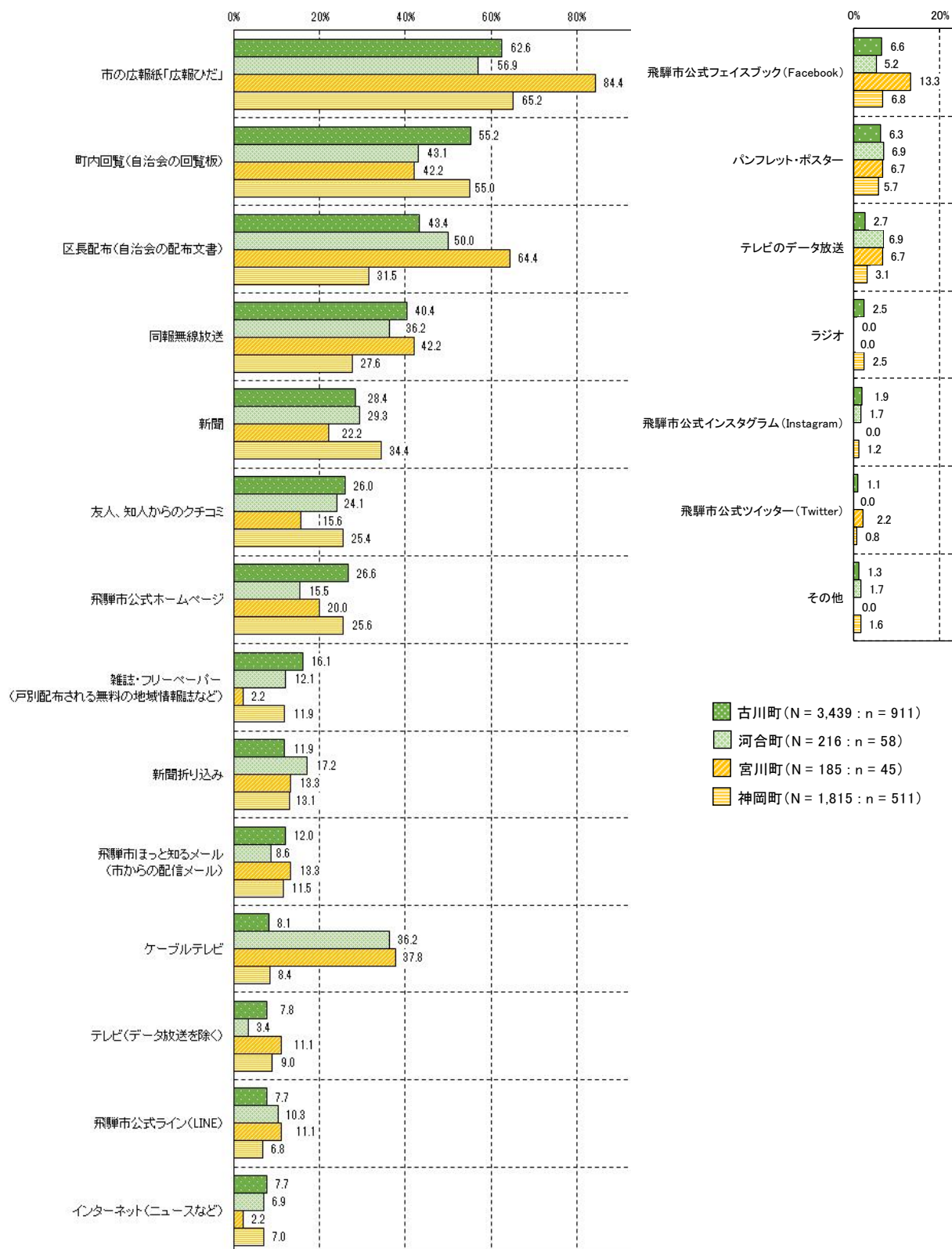
※N=総回答数 n=回答者数



- ・16～19歳を除くいずれの年代においても「広報ひだ」が最も高く、そのうち60歳代が72.2%と最も高い。
- ・16～19歳では「同報無線放送」、「市ホームページ」が29.4%と最も高い。
- ・「広報ひだ」、「町内回覧」、「区長配布」は、年代が高くなるほど割合が高くなる傾向がみられる。

【居住地別】 施策や事業についての情報の入手方法

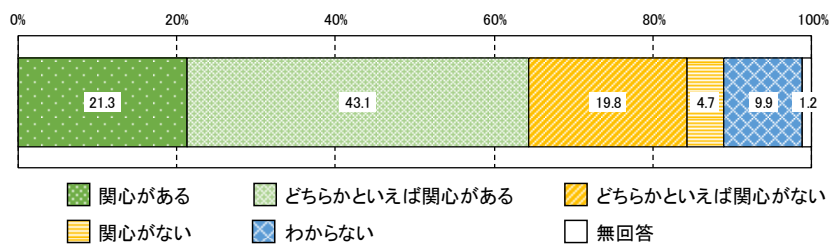
※N=総回答数 n=回答者数



・いずれの居住地においても「広報ひだ」が最も高く、そのうち宮川町が84.4%と最も高い。

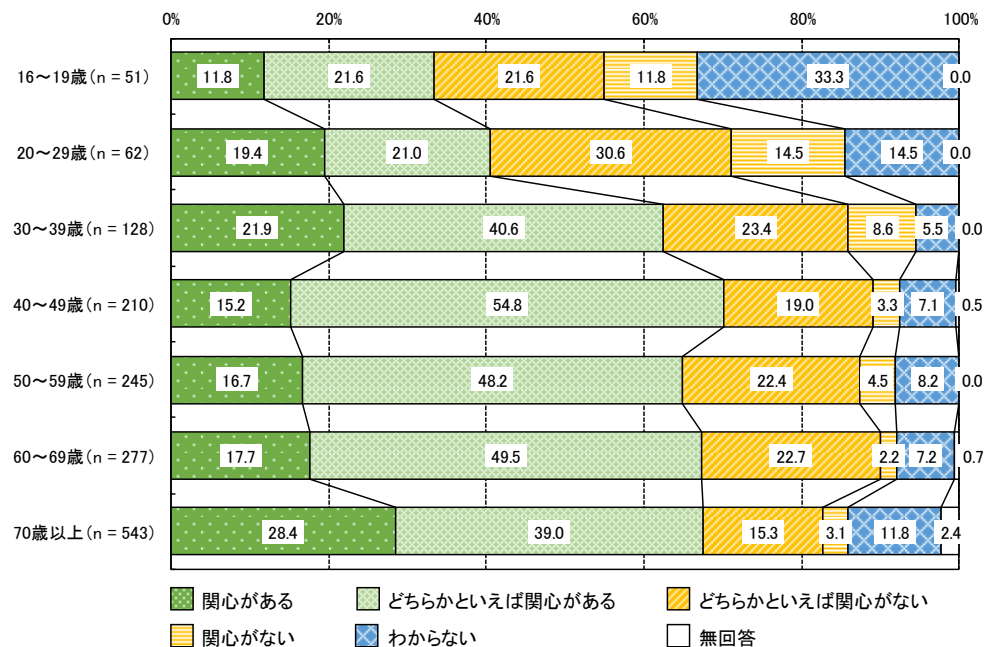
問9 市事業への関心の有無

回答者数 (n = 1,562)



- ・「どちらかといえば関心がある」が 43.1%と最も高い。
- ・次いで「関心がある」(21.3%)、「どちらかといえば関心がない」(19.8%)の順となっている。

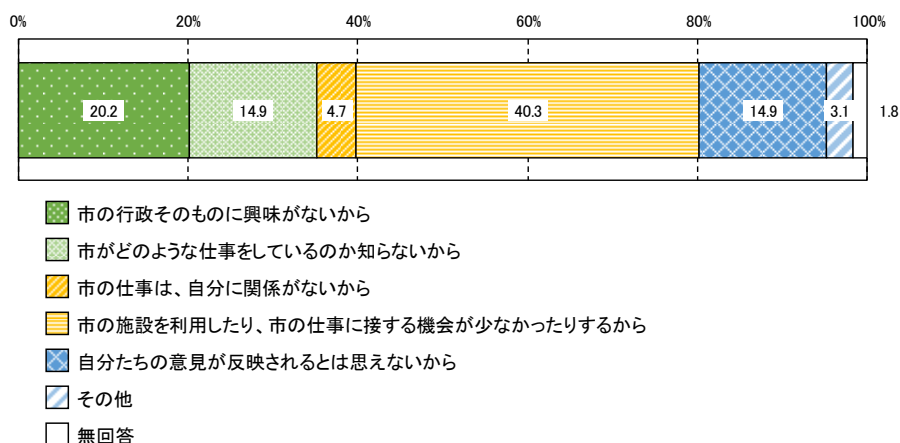
【年代別】市事業への関心の有無



- ・16～19歳、20歳代を除くいずれの年代においても「どちらかといえば関心がある」が最も高い。
- ・16～19歳では「わからない」が最も高い。
- ・20歳代では「どちらかといえば関心がない」が最も高い。
- ・70歳以上では「関心がある」が他の年代に比べて高い。

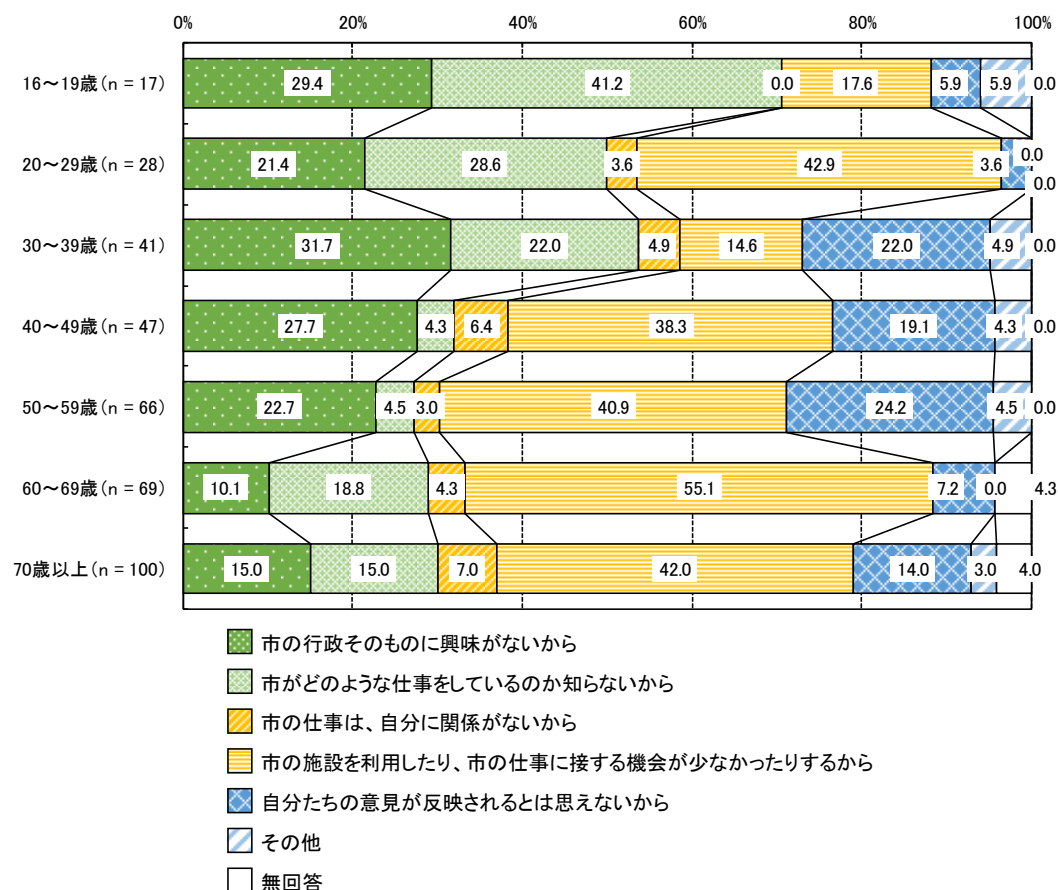
問9-2 市事業に関心がない理由

回答者数 (n = 1,562)



- ・「市の施設を利用したり、市の仕事に接する機会が少なかったりするから」が40.3%と最も高い。
- ・次いで「市の行政そのものに興味がないから」(20.2%)、「市がどのような仕事をしているのか知らないから」、「自分たちの意見が反映されるとは思えないから」(14.9%)の順となっている。

【年代別】市事業に関心がない理由



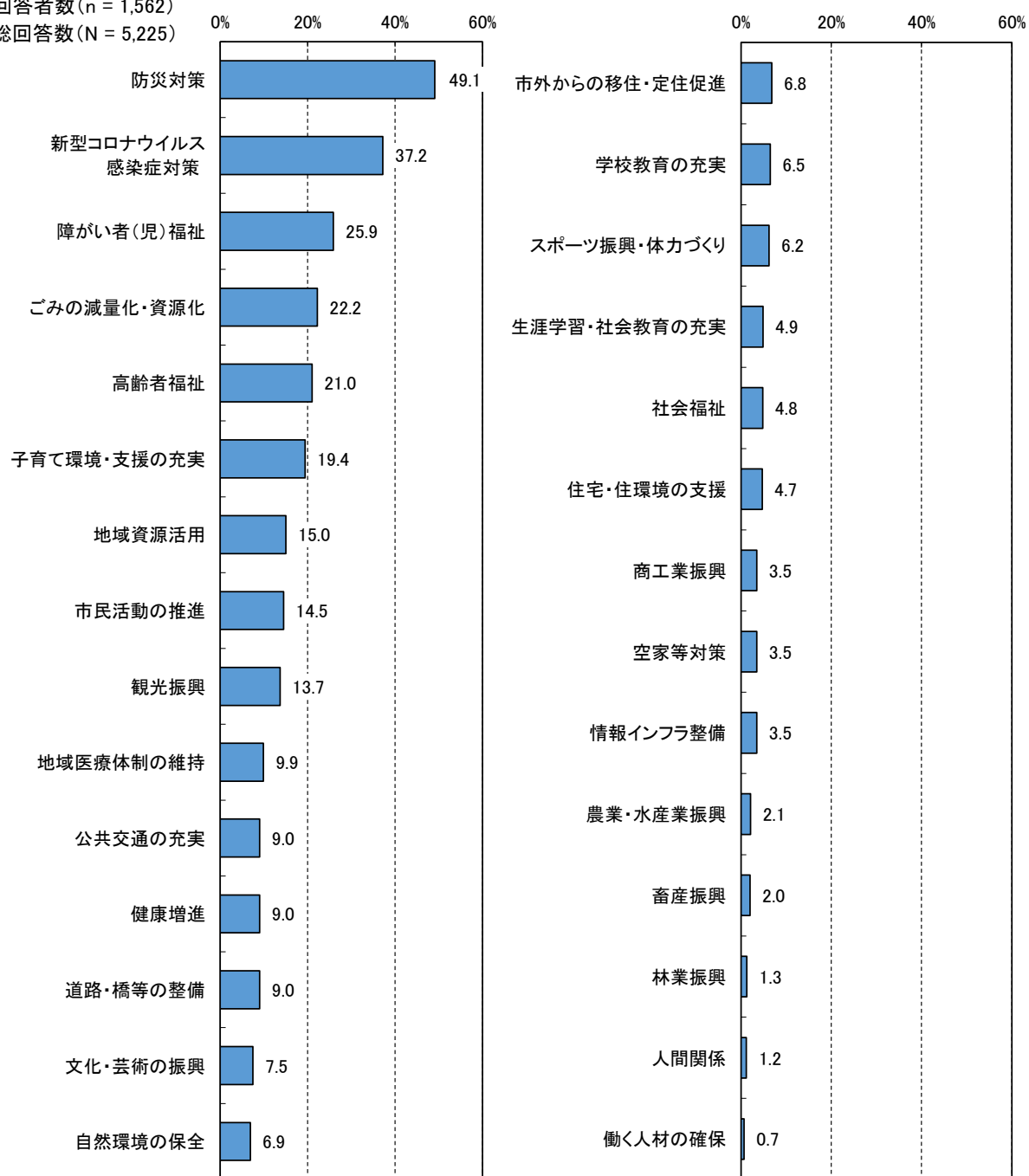
- ・16～19歳、30歳代を除くいずれの年代においても「市の施設を利用したり、市の仕事に接する機会が少なかったりするから」が最も高く、そのうち60歳代が55.1%と最も高い。
- ・16～19歳では「市がどのような仕事をしているのか知らないから」が41.2%と最も高い。
- ・30歳代では「市の行政そのものに興味がないから」が31.7%と最も高い。

問 10 市の取り組みでよくやっていると思う分野、努力が足りないと思う分野、重点的に進めるべきだと思う分野（それぞれ5つまで）

（１）市の取り組みでよくやっていると思う分野

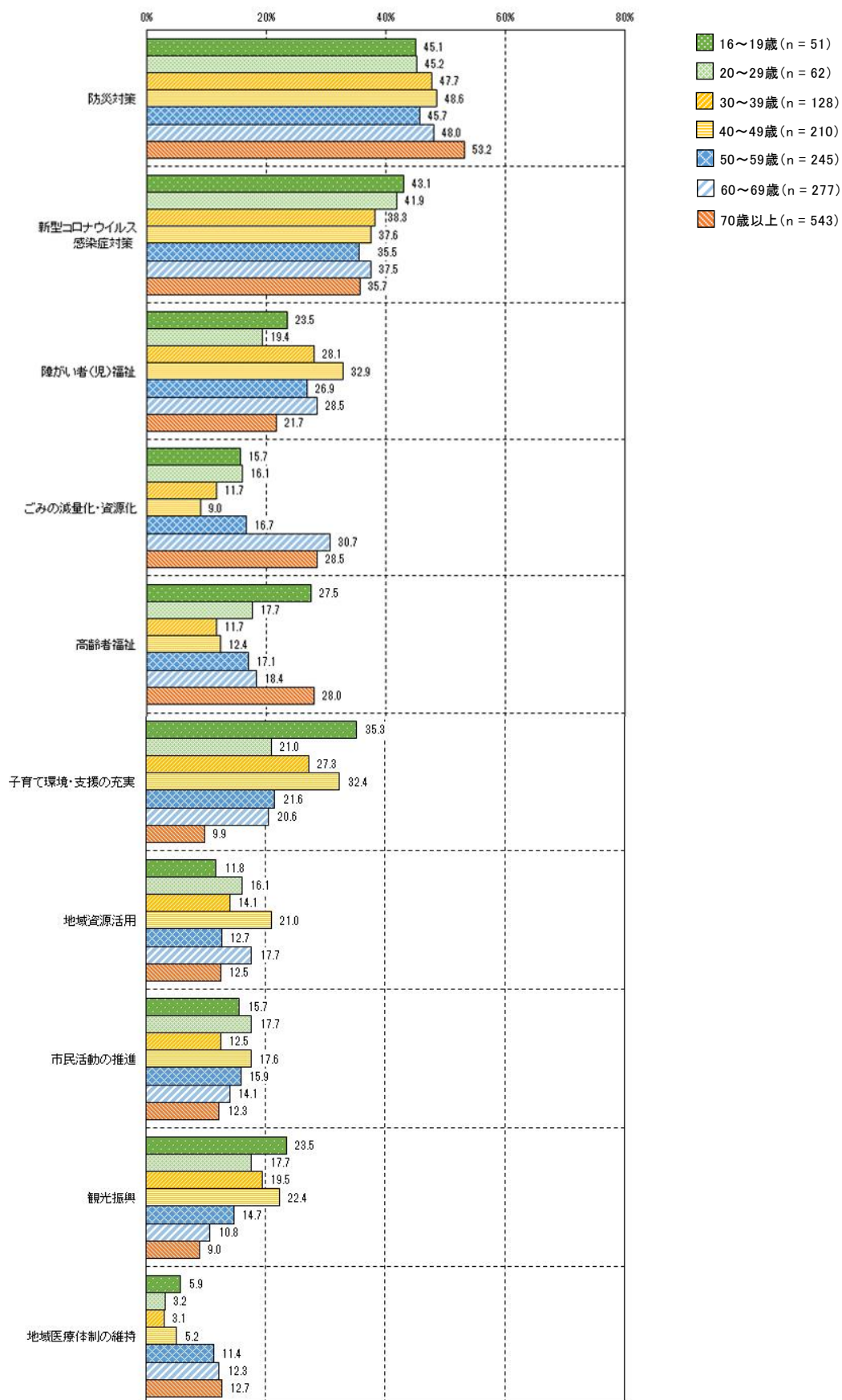
回答者数 (n = 1,562)

総回答数 (N = 5,225)



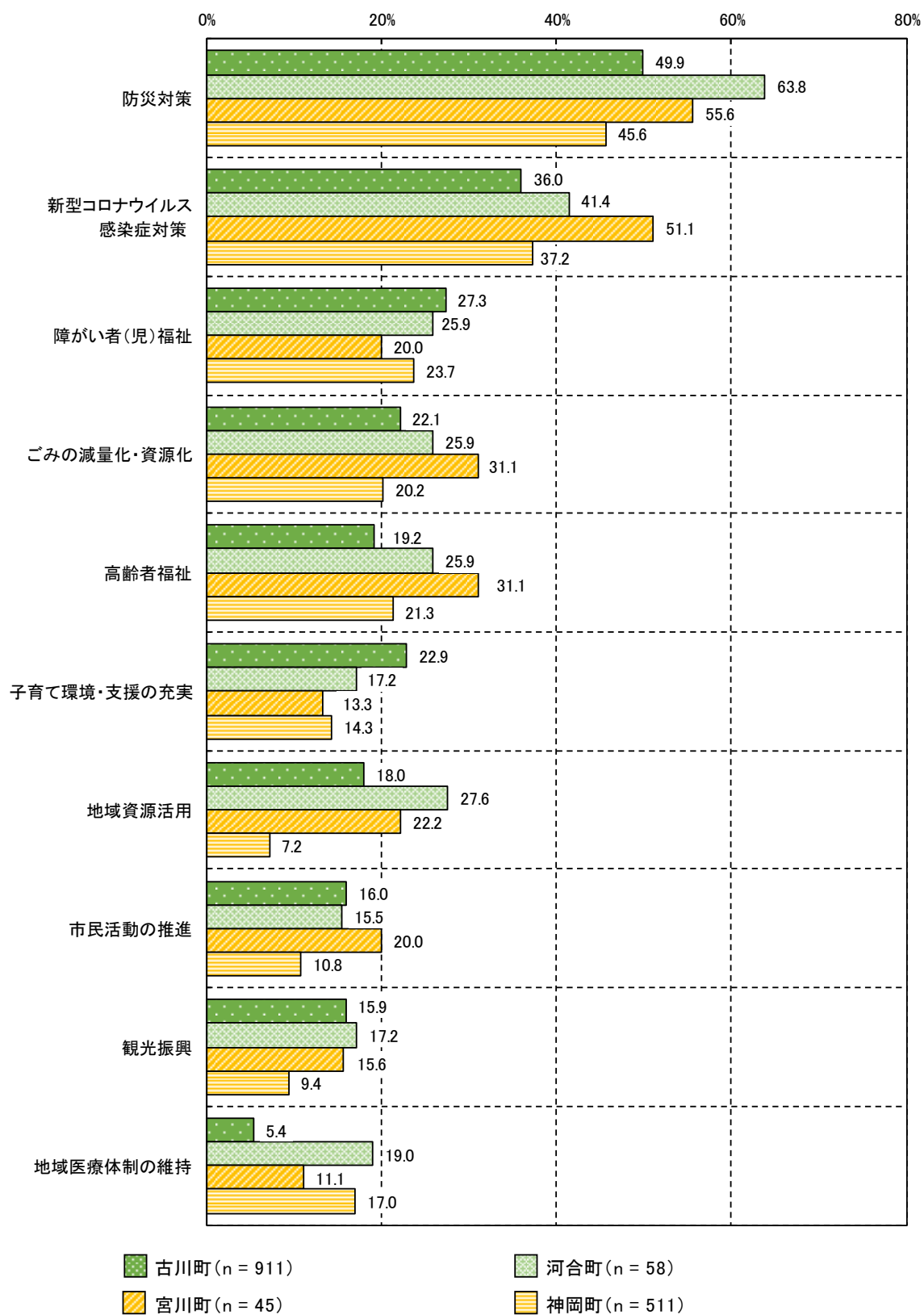
- ・「防災対策」が49.1%と最も高い。
- ・次いで「新型コロナウイルス感染症対策」（37.2%）、「障がい者（児）福祉」（25.9%）の順となっている。

【年代別】市の取り組みでよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



- ・いずれの年代においても「防災対策」が最も高く、そのうち70歳以上が53.2%と最も高い。
- ・「障がい者(児)福祉」では40歳代が32.9%と他の年代に比べて高い。
- ・「ごみの減量化・資源化」では60歳代が30.7%と他の年代に比べて高い。

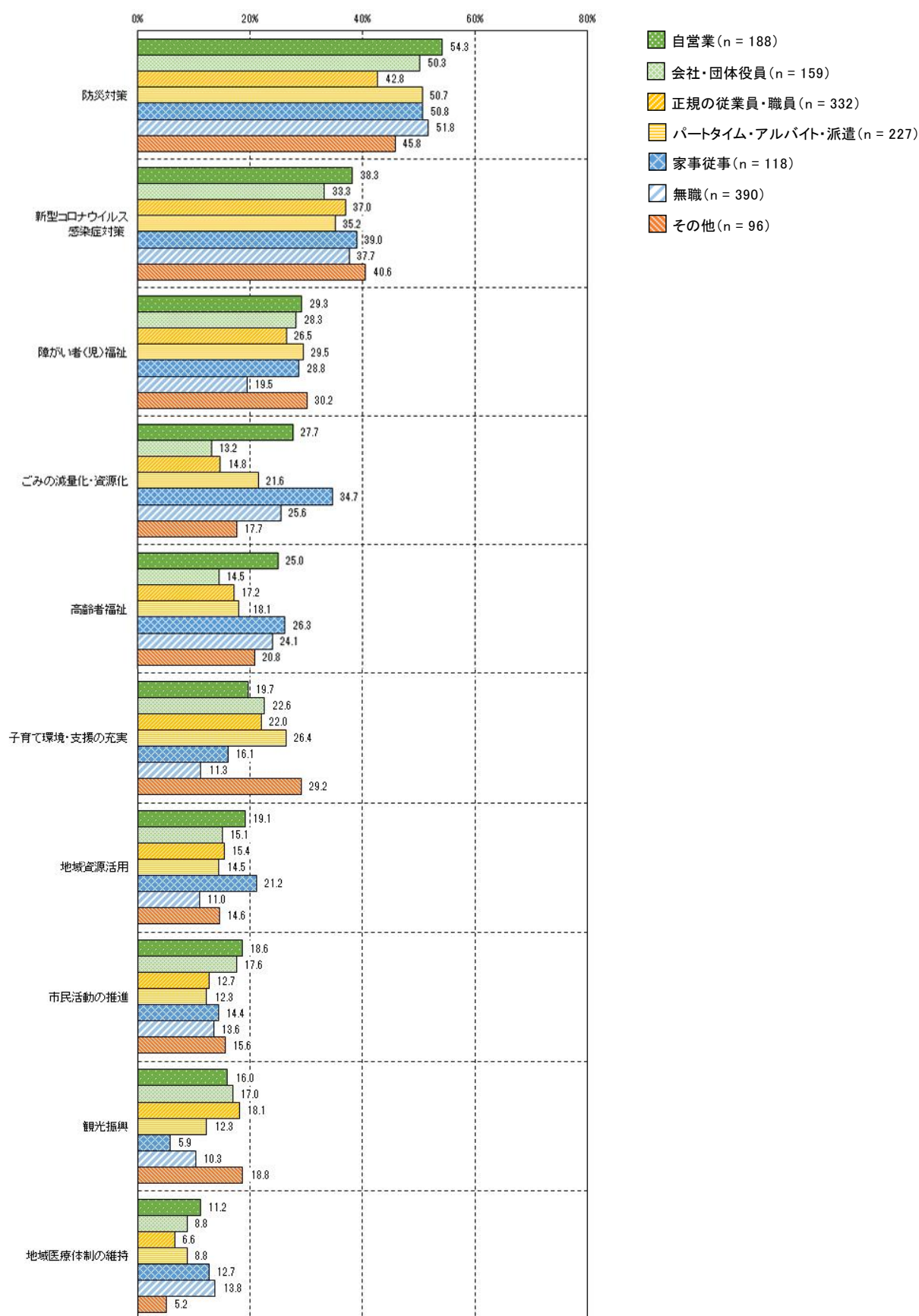
【居住地別】市の取り組みでよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



・いずれの居住地においても「防災対策」が最も高く、そのうち河合町が 63.8%と最も高い。

【職業別】市の取り組みでよくやっていると思う分野(上位 10 施策)

※その他には、自由業、学生を含む。

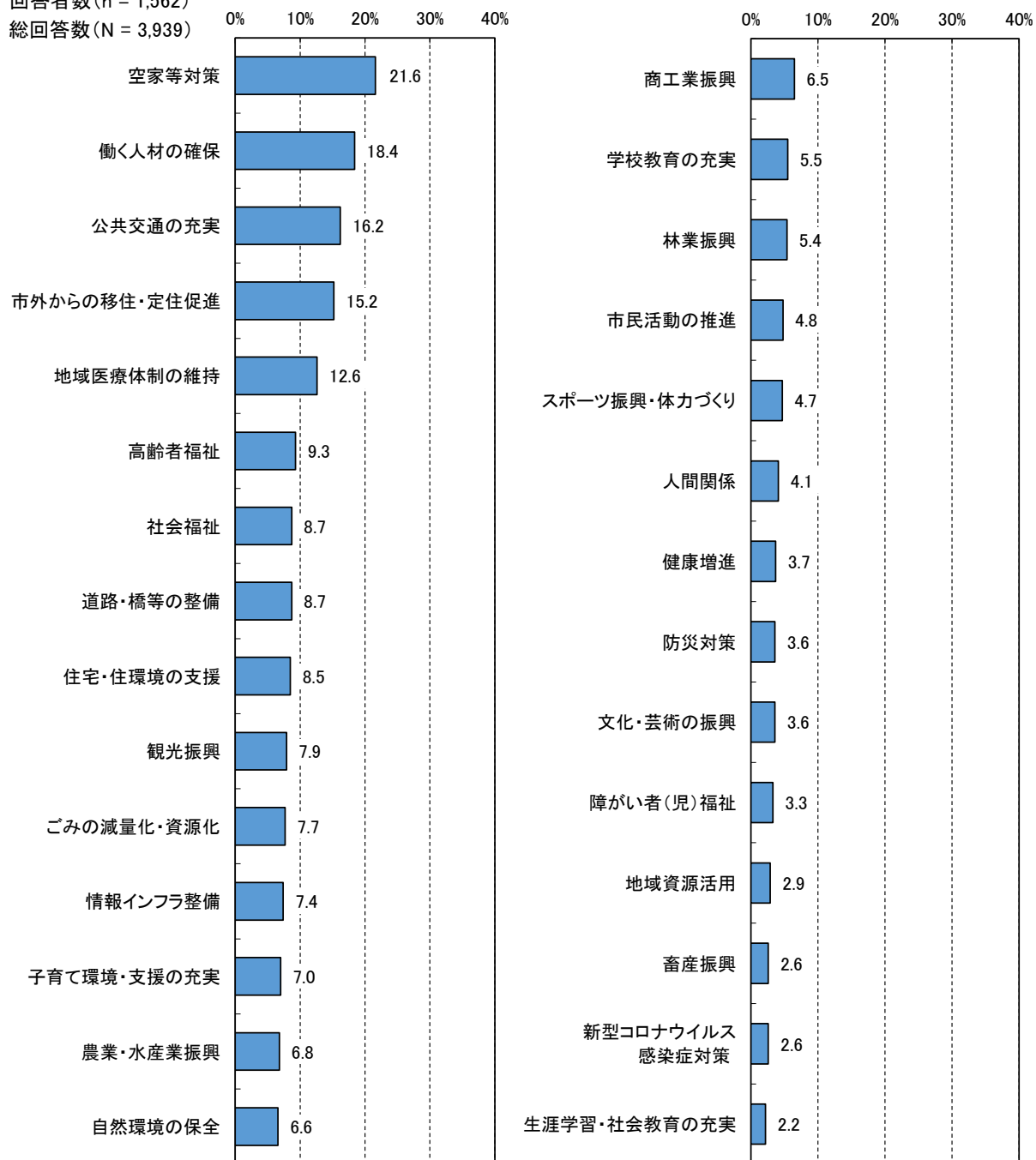


- ・いずれの職業においても「防災対策」が最も高く、そのうち自営業が 54.3% と最も高い。
- ・次いで、いずれの職業も「新型コロナウイルス感染症対策」が高い。

(2) 市の取り組みで努力が足りないと思う分野

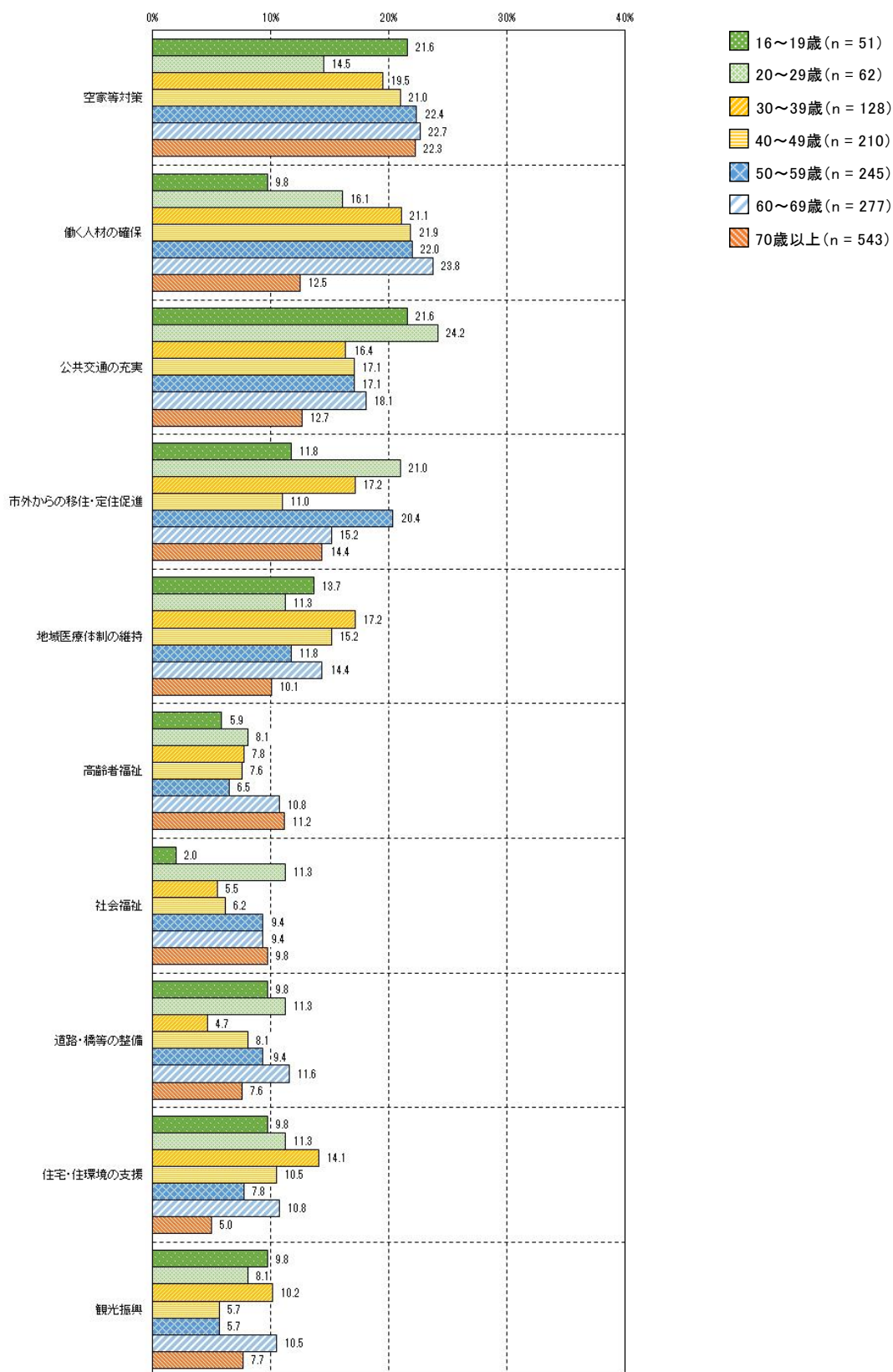
回答者数 (n = 1,562)

総回答数 (N = 3,939)



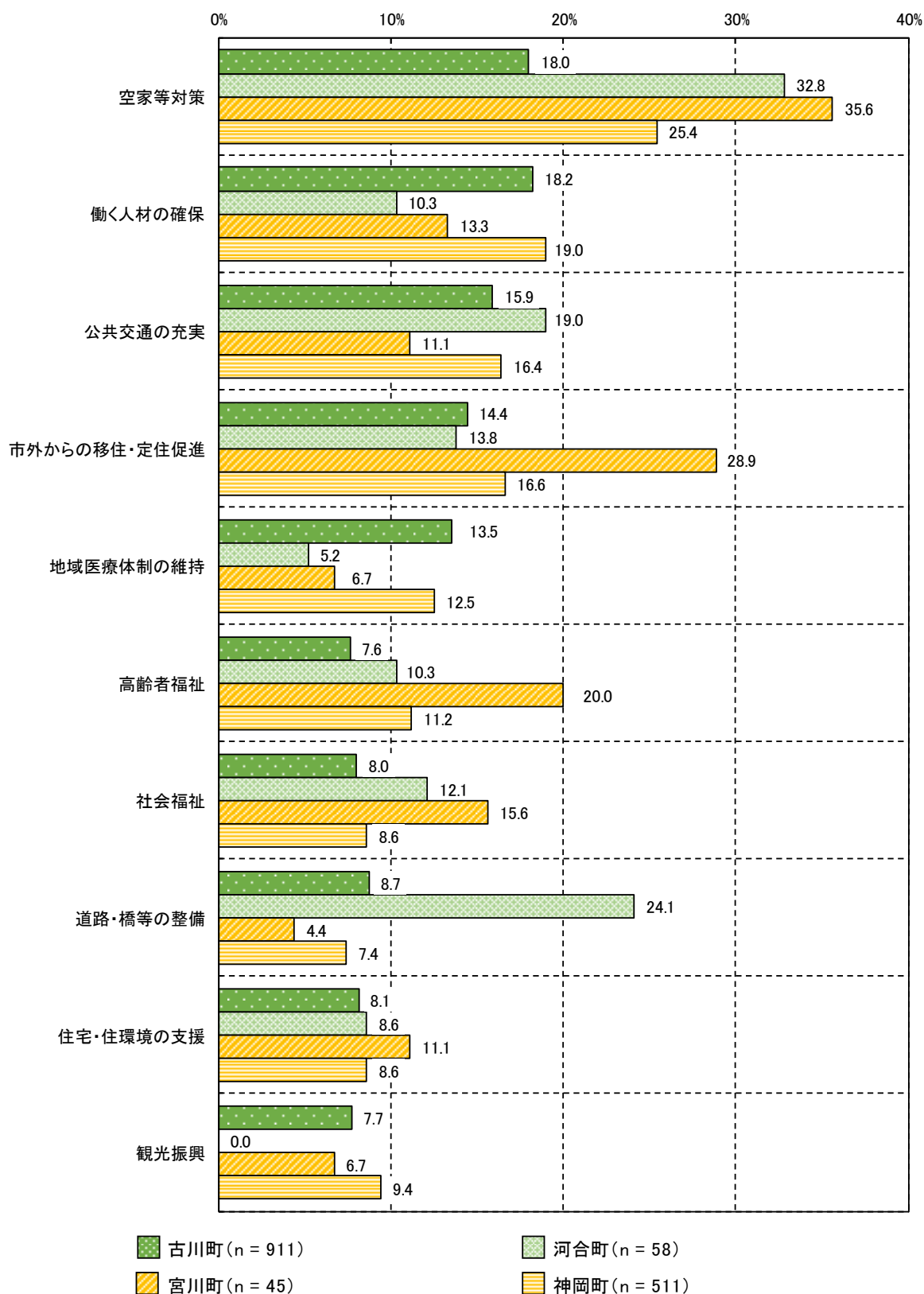
- ・「空家等対策」が21.6%と最も高い。
- ・次いで「働く人材の確保」(18.4%)、「公共交通の充実」(16.2%)の順となっている。

【年代別】市の取り組みで努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



- ・ 16～19 歳、50 歳代、70 歳以上は「空家等対策」が最も高い。
- ・ 30 歳代、40 歳代、60 歳代は「働く人材の確保」が最も高い。
- ・ 20 歳代は「公共交通の充実」が最も高い。
- ・ 16～19 歳は「公共交通の充実」が同率で高い。
- ・ 「市外からの移住・定住促進」では 20 歳代が 21.0%と他の年代に比べて高い。

【居住地別】市の取り組みで努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)

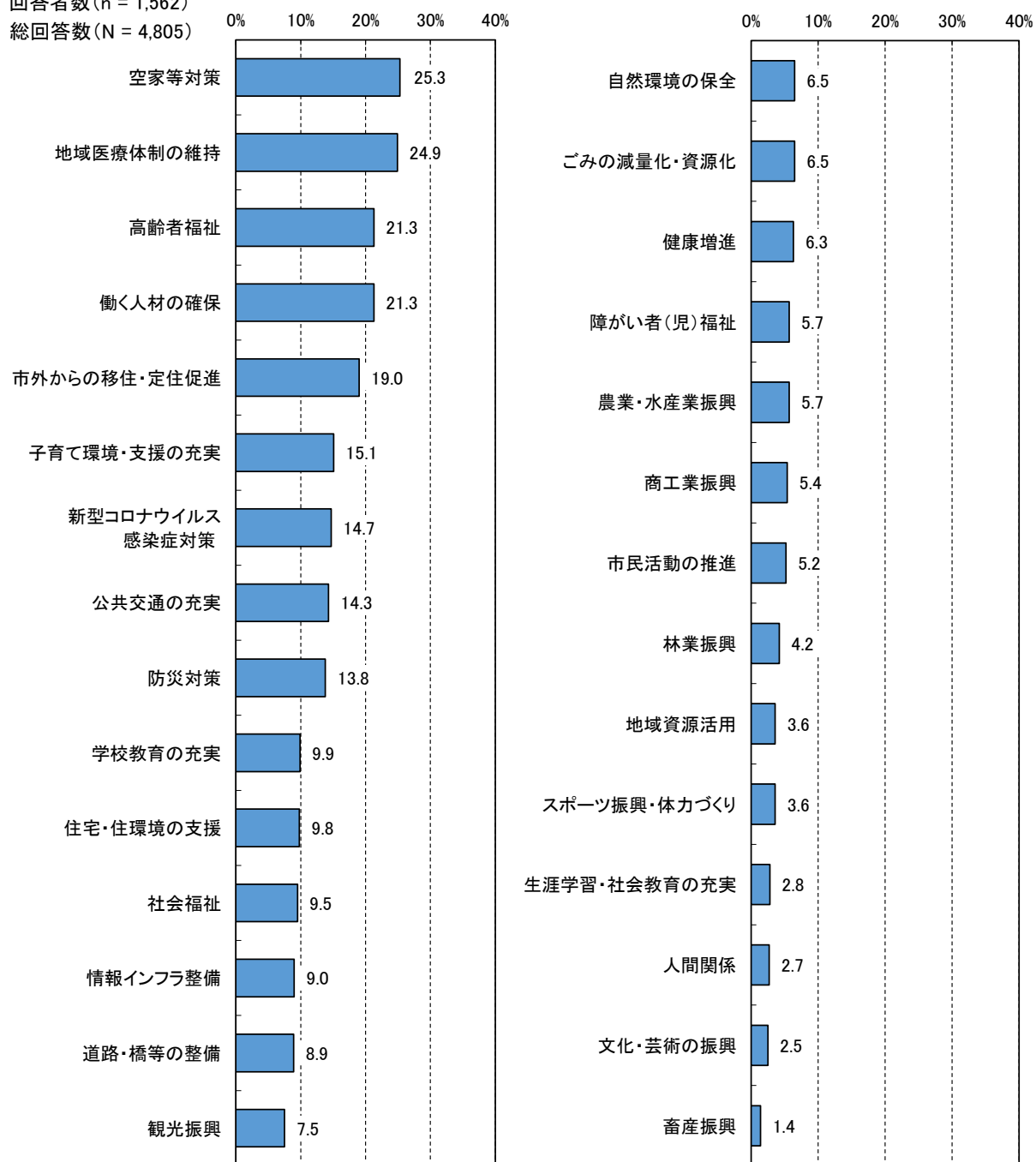


- ・古川町を除くいずれの居住地においても「空家等対策」が最も高く、そのうち宮川町が 35.6%と最も高い。
- ・古川町では「働く人材の確保」が 18.2%と最も高い。
- ・「道路・橋等の整備」では河合町が 24.1%と他の居住地に比べて高い。

(3) 市の取り組みで重点的に進めるべきだと思う分野

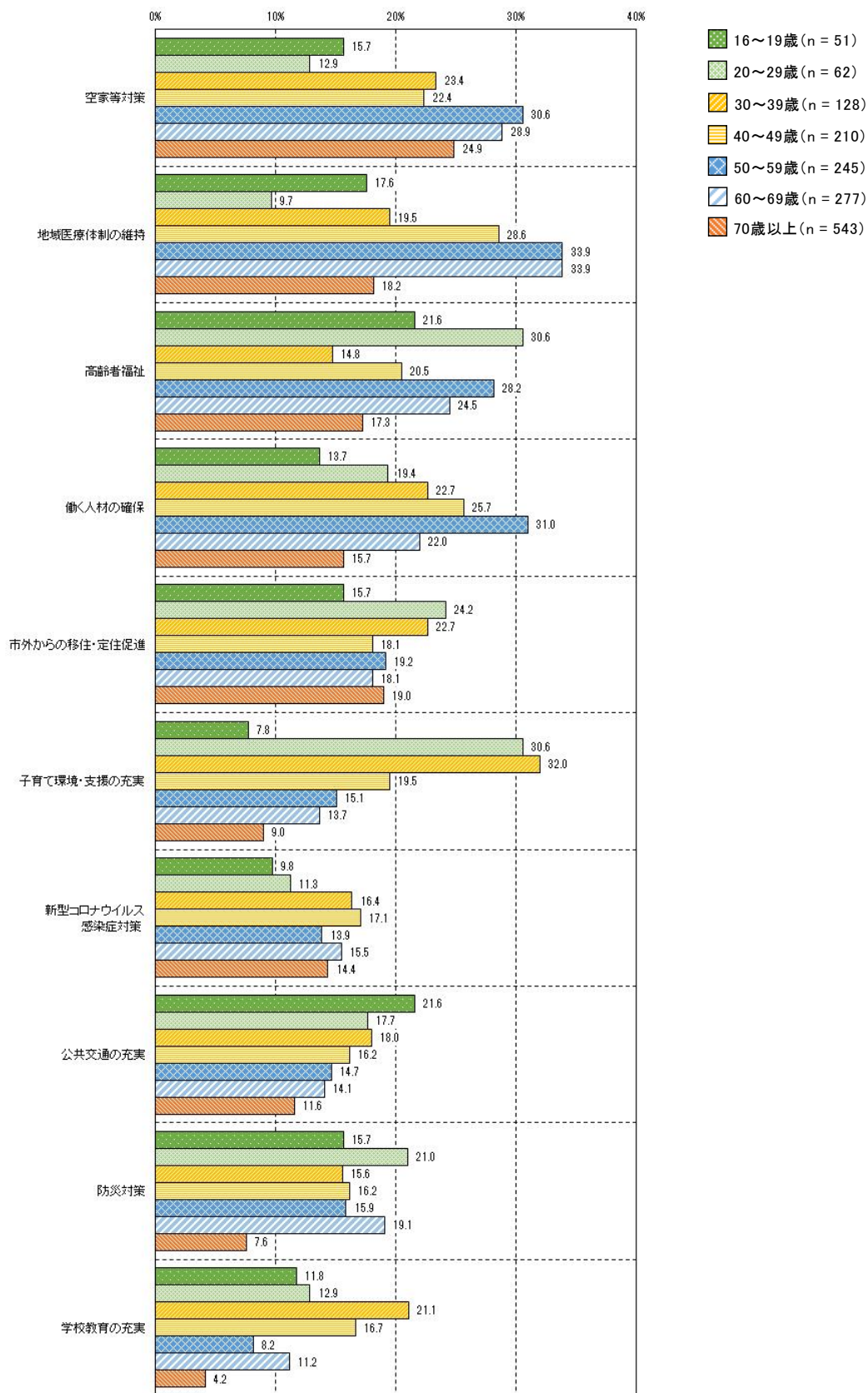
回答者数(n = 1,562)

総回答数(N = 4,805)



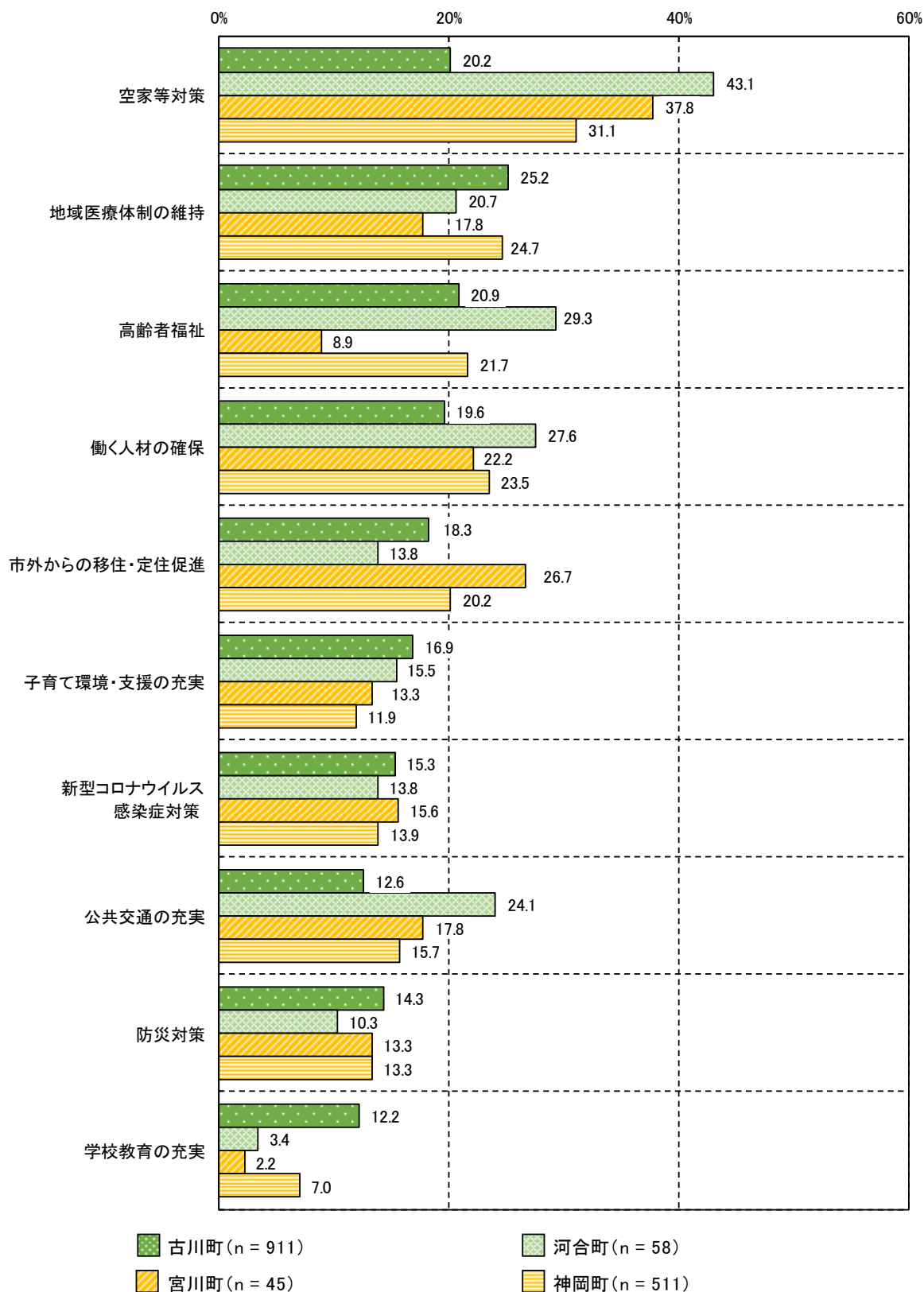
- ・「空家等対策」が25.3%と最も高い。
- ・次いで「地域医療体制の維持」(24.9%)、「高齢者福祉」「働く人材の確保」(21.3%)の順となっている。

【年代別】 重点的に進めるべきだと思う分野(上位 10 施策)



- ・ 16～19 歳は「高齢者福祉」「公共交通の充実」が 21.6%と最も高い。
- ・ 20 歳代は「高齢者福祉」「子育て環境・支援の充実」が 30.6%と最も高い。
- ・ 30 歳代は「子育て環境・支援の充実」が 32.0%と最も高い。
- ・ 40 歳代、50 歳代、60 歳代は「地域医療体制の維持」が最も高い。
- ・ 70 歳以上は「空家等対策」が最も高い。

【居住地別】 重点的に進めるべきだと思う分野(上位 10 施策)



- ・ 古川町を除くいずれの居住地においても「空家等対策」が最も高く、そのうち河合町が 43.1%と最も高い。
- ・ 古川町では「地域医療体制の維持」が 25.2%と最も高い。

問 11 自由意見（飛騨市の市政についてご意見を類似内容でまとめた件数）

内容(件数)
市政全般(90 件)
市長(市政)への評価と期待
市政に関する要望
税金の減税や使い道の見直し
議員定数の見直し(削減)
市議会議員の活動への要望
市政について関心がない・よくわからない
都市基盤(道路・河川・水道等)・公共交通(51 件)
道路・歩道の整備
道路工事への不満
道路整備への評価
河川の整備
公共交通の充実
路線バスの存続
ゴミ袋の値段への不満
ゴミ処理費用への不満
資源ごみの捨て方への不満
ゴミ持ち込み、引き取りに関する評価
市営の共同墓地建設への要望
一般廃棄物・産廃併用の管理型最終処分場の設置
高山市のようなサービスの充実
融雪剤の量への不満
上水道・下水道の料金への不満
人口・移住・定住(36 件)
人口増加への対策と支援
人口減少と未婚者の増加への不安
若者が定住できる対策と支援
移住者の評価
定住者の不満
医療・介護・福祉(30 件)
医療施設や医療体制の充実
介護施設や老人介護の充実
福祉への取り組みに対する評価
介護・福祉への不満
老後の心配
若い介護士の増員
不妊治療への支援
就業・企業誘致・産業振興・雇用(29 件)
優良企業や大規模工場の誘致
若者への就労支援
高齢者への就労支援
農業振興
特産品の創出
人材発掘と自然産業等のPR
経済重視の政策
非正規職員等への処遇改善強化
老人福祉施設等の人手不足解消
流業スキー場発展への協力
地元企業優遇への要望
生活環境・住環境・景観保全(23 件)
住みやすい環境づくり
生活環境への不満と不安
空き家対策
市営住宅周辺の点検
住居の集中化(コンパクト化)
害虫・害獣駆除
環境整備と維持
バイパス沿いの景観整備
子育て・教育(22 件)
子育て支援への評価
子育て支援充実への要望
保育園への要望
小中学校への要望
高校への要望

大学の誘致
学校教育への要望
学校教育への評価
情報通信・情報公開・市報(22 件)
防災行政無線放送に対する要望
情報インフラの整備(Wi-Fi 整備等)
情報の入手方法
情報公開に対する評価
広報に対する批判
ケーブルテレビの内容の充実
AM・FMラジオが受信しにくい
観光・イベント・レジャー・商業施設(19 件)
観光施策の推進、観光資源のPR
北ノ俣岳登山道の整備
婚活イベント等の実施
駅前や観光地での商業施設の充実
スーパー銭湯の誘致
地域による商業施設の偏り
道の駅の活性化
職員の対応・意識等(19 件)
職員への評価と期待
職員への苦情
職員の評価制度導入
職員の働き方改革
職員への新型コロナウイルス感染症対策の徹底
各課の情報共有
オンライン化の推進
パート公務員の時給を上げる
新型コロナウイルス感染症対策等(15 件)
新型コロナウイルス感染症対策への評価と期待
密を避ける制限や対策の見直し
経済や生活への不安
飛騨市でのPCR検査実施
防災・防犯・交通安全(13 件)
土砂災害・水害対策への要望
災害時の情報提供等
避難場所に対する不安
各地域の防災士増員
交通安全の充実
住宅地での取り締まり強化
住民自治・市民参画・地域活動(9 件)
祭りへの参加人数の減少
回覧板の廃止・見直し、町内会配布物の見直し
町内会の負担軽減
公共施設・公園の整備(8 件)
公共施設・用地の整備
公共施設の利便性
公園の管理・整備
ウォーキングやドッグラン等の施設の充実
モラル・マナー(4 件)
町内のコミュニケーション不足(挨拶無視等)
私有地への不法侵入
違法駐車
自宅でのゴミ焼き
学習・文化芸術・スポーツ(4 件)
スポーツ施設の充実
屋内施設の設備の充実
老後のサークル活動の充実
その他(21 件)
特にない
よくわからない
世論調査への評価
世論調査への批判
世論調査への提案
生きがいのについて

令和２年度飛騨市「市政世論調査」調査結果報告書【全文】の公表

下記にてご覧いただけます。

- 飛騨市図書館
 - 飛騨市神岡図書館
 - 河合振興事務所
 - 宮川振興事務所
 - 飛騨市ホームページ
- ※各施設の窓口にお問い合わせください。
- <https://www.city.hida.gifu.jp/soshiki/7/yoron.html>

飛騨市 市政世論調査



QRコード

- 問合せ先 -

飛騨市役所 企画部 総合政策課
〒509-4292 岐阜県飛騨市古川町本町２番２２号
電話番号 0577-73-6558